



## Syslog メッセージ 302003 ~ 342008

この章は、次の項で構成されています。

- [メッセージ 302003 ~ 319004](#) (1 ページ)
- [メッセージ 320001 ~ 342008](#) (42 ページ)

### メッセージ 302003 ~ 319004

この章では、302003 から 319004 までのメッセージについて説明します。

#### 302003

**エラーメッセージ** %ASA-6-302003: Built H245 connection for foreign\_address outside\_address /outside\_port local\_address inside\_address /inside\_port

**説明** H.245 接続が **outside\_address** から **inside\_address** に向けて開始されました。ASA は、Intel Internet Phone の使用を検出しました。外部ポート (**outside\_port**) は、外部から ASA の接続にしか表示されません。ローカルポート値 (**inside\_port**) は、内部インターフェイスで開始された接続にしか表示されません。

**推奨アクション** 必要なし。

#### 302004

**エラーメッセージ** %ASA-6-302004: Pre-allocate H323 UDP backconnection for foreign\_address outside\_address /outside\_port to local\_address inside\_address /inside\_port

**説明** H.323 UDP バック接続がローカルアドレス (**inside\_address**) から外部アドレス (**outside\_address**) に事前割り当てされました。ASA は、Intel Internet Phone の使用を検出しました。外部ポート (**outside\_port**) は、ASA 外部からの接続にしか表示されません。ローカルポート値 (**inside\_port**) は、内部インターフェイスで開始された接続にしか表示されません。

**推奨アクション** 必要なし。

## 302010

**エラーメッセージ** %ASA-6-302010: *connections in use, connections most used*

**説明** 使用中の接続数と最も使用されている接続数に関する情報を提供します。

- **connections** : 接続数

**推奨アクション** 必要なし。

## 302012

**エラーメッセージ** %ASA-6-302012: Pre-allocate H.225 Call Signalling Connection for faddr *IP\_address /port* to laddr *IP\_address*

**説明** H.225 二次チャネルは事前割り当て済みです。

**推奨アクション** 必要なし。

## 302013

**エラーメッセージ** %ASA-6-302013: Built {inbound|outbound} TCP *connection\_id* for interface *:real-address /real-port (mapped-address/mapped-port ) [(idfw\_user )]* to interface *:real-address /real-port (mapped-address/mapped-port ) [(idfw\_user )] [(user )]*

**説明** 2つのホスト間に TCP 接続スロットが作成されました。

- **connection\_id** : 一意の識別子
- **interface、real-address、real-port** : 実際のソケット
- **mapped-address、mapped-port** : マッピングされたソケット
- **user** : ユーザの AAA の名前
- **idfw\_user** : アイデンティティ ファイアウォールのユーザ名

inbound が表示されている場合、元の制御接続は外部から開始されています。たとえば、FTP の場合、元の制御チャネルが着信であれば、すべてのデータ転送チャネルは着信です。outbound が表示されている場合、元の制御接続は内部から開始されています。

**推奨アクション** 必要なし。

## 302014

**エラーメッセージ** %ASA-6-302014: Teardown TCP connection id for interface *:real-address /real-port [(idfw\_user )]* to interface *:real-address /real-port [(idfw\_user )]* duration *hh:mm:ss* bytes bytes [reason [from teardown-initiator]] [(user )]

**説明** 2つのホスト間の TCP 接続が削除されました。メッセージの値は次のとおりです。

- **id** : 一意の識別子
- **interface、real-address、real-port** : 実際のソケット

- **duration** : 接続のライフタイム
- **bytes** : 接続中のデータ転送量
- **User** : ユーザの AAA の名前
- **idfw\_user** : アイデンティティ ファイアウォールのユーザ名
- **reason** : 接続終了の原因となったアクション **reason** 変数には、次の表に示されている TCP 終了の原因の 1 つが設定されています。
- **teardown-initiator** : 切断を開始した側のインターフェイス名。

表 1: TCP 終了の原因

理由	説明
Conn-timeout	非アクティビティタイマーの期限切れのため、フローが終了したときに接続が終了しました。
Deny Terminate	フローは、アプリケーションインスペクションによって終了されました。
Failover primary closed	アクティブ装置から受信したメッセージが原因で、フェールオーバー ペアのスタンバイ装置が接続を削除しました。
FIN Timeout	最終 ACK を 10 分間待機した後、またはハーフクローズ タイムアウト後の強制終了です。
Flow closed by inspection	フローは、検査機能によって終了されました。
Flow terminated by IPS	フローは、IPS によって終了されました。
Flow reset by IPS	フローは、IPS によってリセットされました。
Flow terminated by TCP Intercept	フローは、TCP 代行受信によって終了されました。
Flow timed out	フローがタイムアウトしました。
Flow timed out with reset	フローがタイムアウトしましたが、リセットされました。
Flow is a loopback	フローはループバックです。
Free the flow created as result of packet injection	Packet Tracer 機能によって ASA を介してシミュレート パケットが送信されたため、接続が確立されました。
Invalid SYN	SYN パケットが無効でした。
IPS fail-close	フローは、IPS カードのダウンのため終了されました。

理由	説明
No interfaces associated with zone	「no nameif」または「no zone-member」がインターフェイスメンバーのいないゾーンを離れた後、フローが切断されました。
No valid adjacency	ASAが隣接情報を取得しようとしたますが、ネクストホップのMACアドレスを取得できなかった場合、このカウンタが増分します。パケットはドロップされます。
Pinhole Timeout	ASA がセカンダリ フローを開始しましたが、タイムアウト間隔内にこのフローにパケットが渡されなかったためにフローが削除されたことを報告するため、このカウンタが増分します。セカンダリ フローの例としては、FTP コントロール チャネル上でネゴシエーションの成功後に作成される FTP データ チャネルがあります。
Route change	ASA が低コスト（より良いメトリック）ルートを追加した場合、着信パケットが新しいルートに一致すると、ユーザ設定のタイムアウト値（floating-conn）後に既存の接続が切断されます。後続のパケットは、良好なメトリックを持つインターフェイスから接続を再構築します。コストが小さいルートの追加がアクティブフローに影響を与えることを防ぐため、floating-conn 設定タイムアウト値を 0:0:0 に設定できます。
SYN Control	バック チャネル開始が誤った側から発生しました。
SYN Timeout	3 ウェイ ハンドシェイクの完了を 30 秒間待機した後の強制終了です。
TCP bad retransmission	不良 TCP 再送が原因で接続は終了しました。
TCP FINs	正常なクローズダウンシーケンスが発生しました。理由の後に IP アドレスが続きます。
TCP Invalid SYN	無効な TCP SYN パケットです。
TCP Reset - APPLIANCE	フローは、ASA によって TCP リセットが生成された場合に終了します。
TCP Reset - I	内部からリセットされました。
TCP Reset - O	外部からリセットされました。
TCP segment partial overlap	部分的に重複するセグメントが検出されました。
TCP unexpected window size variation	TCP ウィンドウサイズに変動があるため接続は終了しました。
Tunnel has been torn down	トンネルがダウンしているため、フローは終了しました。

理由	説明
Unauth Deny	許可は、URL フィルタによって拒否されました。
Unknown	不明なエラーが発生しました。
Xlate Clear	コマンドラインが削除されました。

推奨アクション必要なし。

## 302015

**エラーメッセージ** %ASA-6-302015: Built {inbound|outbound} UDP connection number for interface\_name :real\_address /real\_port (mapped\_address /mapped\_port) [(idfw\_user)] to interface\_name :real\_address /real\_port (mapped\_address /mapped\_port) [(idfw\_user)] [(user)]

**説明** 2つのホスト間に UDP 接続スロットが作成されました。メッセージの値は次のとおりです。

- **number** : 一意の識別子
- **interface、real\_address、real\_port** : 実際のソケット
- **mapped\_address、mapped\_port** : マッピングされたソケット
- **user** : ユーザの AAA の名前
- **idfw\_user** : アイデンティティ ファイアウォールのユーザ名

inbound が表示されている場合、元の制御接続は外部から開始されています。たとえば、UDP の場合、元の制御チャンネルが着信であれば、すべてのデータ転送チャンネルは着信です。outbound が表示されている場合、元の制御接続は内部から開始されています。

推奨アクション必要なし。

## 302016

**エラーメッセージ** %ASA-6-302016: Teardown UDP connection number for interface :real-address /real-port [(idfw\_user)] to interface :real-address /real-port [(idfw\_user)] duration hh :mm :ss bytes bytes [(user)]

**説明** 2つのホスト間の UDP 接続スロットが削除されました。メッセージの値は次のとおりです。

- **number** : 一意の識別子
- **interface、real\_address、real\_port** : 実際のソケット
- **time** : 接続のライフタイム
- **bytes** : 接続中のデータ転送量
- **id** : 一意の識別子
- **interface、real-address、real-port** : 実際のソケット
- **duration** : 接続のライフタイム

- **bytes** : 接続中のデータ転送量
- **user** : ユーザの AAA の名前
- **idfw\_user** : アイデンティティ ファイアウォールのユーザ名

推奨アクション必要なし。

## 302017

**エラーメッセージ** %ASA-6-302017: Built {inbound|outbound} GRE connection id from interface :real\_address (translated\_address) [(idfw\_user)] to interface :real\_address /real\_cid (translated\_address /translated\_cid) [(idfw\_user)] [(user)]

**説明** 2つのホスト間に GRE 接続スロットが作成されました。**id** は、一意の識別子です。

**interface**、**real\_address**、**real\_cid** タプルは、2つのシンプレックス PPTP GRE ストリームのうちの1つを示します。カッコ付きの **translated\_address**、**translated\_cid** タプルは、ネットワークアドレス変換 (NAT) で変換された値を示します。**inbound** が表示されている場合、接続は着信だけに使用できます。**outbound** が表示されている場合、接続は発信だけに使用できます。メッセージの値は次のとおりです。

- **id** : 接続を識別するための一意の番号
- **inbound** : 制御接続は着信 PPTP GRE フロー用
- **outbound** : 制御接続は発信 PPTP GRE フロー用
- **interface\_name** : インターフェイス名
- **real\_address** : 実際のホストの IP アドレス
- **real\_cid** : 接続の変換前のコール ID
- **translated\_address** : 変換後の IP アドレス
- **translated\_cid** : 変換後のコール
- **user** : AAA ユーザ名
- **idfw\_user** : アイデンティティ ファイアウォールのユーザ名

推奨アクション必要なし。

## 302018

**エラーメッセージ** %ASA-6-302018: Teardown GRE connection id from interface :real\_address (translated\_address) [(idfw\_user)] to interface :real\_address /real\_cid (translated\_address /translated\_cid) [(idfw\_user)] duration hh:mm:ss bytes bytes [(user)]

**説明** 2つのホスト間の GRE 接続スロットが削除されました。**interface**、**real\_address**、**real\_port** タプルは、実際のソケットを示します。**Duration** は、接続のライフタイムを示します。メッセージの値は次のとおりです。

- **id** : 接続を識別するための一意の番号
- **interface** : インターフェイス名
- **real\_address** : 実際のホストの IP アドレス
- **real\_port** : 実際のホストのポート番号

- **hh:mm:ss** : 時:分:秒の形式の時間
- **bytes** : GRE セッションで転送された PPP バイトの数
- **reason** : 接続が終了された原因
- **user** : AAA ユーザ名
- **idfw\_user** : アイデンティティ ファイアウォールのユーザ名

推奨アクション必要なし。

## 302019

**エラーメッセージ** %ASA-3-302019: H.323 library\_name ASN Library failed to initialize, error code number

**説明** 指摘された ASN ライブラリ (ASA が H.323 メッセージのデコードに使用するライブラリ) の初期化に失敗しました。ASA は到着する H.323 パケットのデコードも検査もできません。ASA は、何も修正を加えずに H.323 パケットが通過できるようにします。次の H.323 メッセージが到着すると、ASA はライブラリを再度初期化しようとします。

**推奨アクション** このメッセージが特定のライブラリに対して始終生成される場合は、Cisco TAC にお問い合わせのうえ、すべてのログメッセージ (タイムスタンプ付きが望ましい) を送付してください。

## 302020

**エラーメッセージ** %ASA-6-302020: Built {in | out} bound ICMP connection for faddr {faddr | icmp\_seq\_num } [(idfw\_user )] gaddr {gaddr | icmp\_type } laddr laddr [(idfw\_user )] type {type } code {code }

**説明** inspect icmp コマンドを使用してステートフル ICMP をイネーブルにしたときに、ICMP セッションがファーストパスで確立されました。メッセージの値は次のとおりです。

- **faddr** : 外部ホストの IP アドレスを指定します
- **gaddr** : グローバルホストの IP アドレスを指定します
- **laddr** : ローカルホストの IP アドレスを指定します
- **idfw\_user** : アイデンティティ ファイアウォールのユーザ名
- **user** : 接続が開始されたホストに関連付けられているユーザ名
- **type** : ICMP タイプを指定します。
- **code** : ICMP コードを指定します。

推奨アクション必要なし。

## 302021

**エラーメッセージ** %ASA-6-302021: Teardown ICMP connection for faddr {faddr | icmp\_seq\_num } [(idfw\_user )] gaddr {gaddr | icmp\_type } laddr laddr [(idfw\_user )] type {type } code {code }

説明 inspect icmp コマンドを使用してステートフル ICMP をイネーブルにすると、ICMP セッションがファーストパスで削除されます。メッセージの値は次のとおりです。

- *faddr* : 外部ホストの IP アドレスを指定します
- *gaddr* : グローバル ホストの IP アドレスを指定します
- *laddr* : ローカル ホストの IP アドレスを指定します
- *idfw\_user* : アイデンティティ ファイアウォールのユーザ名
- *user* : 接続が開始されたホストに関連付けられているユーザ名
- *type* : ICMP タイプを指定します。
- *code* : ICMP コードを指定します。

推奨アクション必要なし。

## 302022

エラーメッセージ %ASA-6-302022: Built role stub TCP connection for interface :real-address /real-port (mapped-address /mapped-port ) to interface :real-address /real-port (mapped-address /mapped-port)

説明 TCP ディレクタ/バックアップ/フォワーダ フローが作成されました。

推奨アクション必要なし。

## 302023

エラーメッセージ %ASA-6-302023: Teardown stub TCP connection for interface :real-address /real-port to interface :real-address /real-port duration hh:mm:ss forwarded bytes bytes reason

説明 TCP ディレクタ/バックアップ/フォワーダ フローが切断されました。

推奨アクション必要なし。

## 302024

エラーメッセージ %ASA-6-302024: Built role stub UDP connection for interface :real-address /real-port (mapped-address /mapped-port ) to interface :real-address /real-port (mapped-address /mapped-port )

説明 UDP ディレクタ/バックアップ/フォワーダ フローが作成されました。

推奨アクション必要なし。

## 302025

エラーメッセージ %ASA-6-302025: Teardown stub UDP connection for interface :real-address /real-port to interface :real-address /real-port duration hh:mm:ss forwarded bytes bytes reason

説明 UDP ディレクタ/バックアップ/フォワーダ フローが切断されました。



推奨アクション必要なし。

## 302026

**エラーメッセージ** %ASA-6-302026: Built role stub ICMP connection for *interface :real-address /real-port (mapped-address)* to *interface :real-address /real-port (mapped-address)*

**説明** ICMP ディレクタ/バックアップ/フォワーダ フローが作成されました。

推奨アクション必要なし。

## 302027

**エラーメッセージ** %ASA-6-302027: Teardown stub ICMP connection for *interface :real-address /real-port* to *interface :real-address /real-port* duration *hh:mm:ss* forwarded bytes *bytes* reason

**説明** ICMP ディレクタ/バックアップ/フォワーダ フローが切断されました。

推奨アクション必要なし。

## 302033

**エラーメッセージ** %ASA-6-302033: Pre-allocated H323 GUP Connection for *faddr interface :foreign address /foreign-port* to *laddr interface :local-address /local-port*

**説明** GUP 接続は外部アドレスからローカルアドレスに開始されました。外部ポートは、セキュリティ デバイスの外部からの接続にしか表示されません。ローカルポート値 (内部ポート) は、内部インターフェイスで開始された接続にしか表示されません。

- **interface** : インターフェイス名
- **foreign-address** : 外部ホストの IP アドレス
- **foreign-port** : 外部ホストのポート番号
- **local-address** : ローカルホストの IP アドレス
- **local-port** : ローカルホストのポート番号

推奨アクション必要なし。

## 302034

**エラーメッセージ** %ASA-4-302034: Unable to pre-allocate H323 GUP Connection for *faddr interface :foreign address /foreign-port* to *laddr interface :local-address /local-port*

**説明** モジュールが、接続の開始中に RAM システムメモリの割り当てに失敗したか、またはアドレス変換スロットを利用できません。

- **interface** : インターフェイス名
- **foreign-address** : 外部ホストの IP アドレス
- **foreign-port** : 外部ホストのポート番号

- *local-address* : ローカルホストの IP アドレス
- *local-port* : ローカルホストのポート番号

**推奨アクション** このメッセージが定期的に表示される場合は、無視できます。頻繁に繰り返される場合は、Cisco TAC にお問い合わせください。グローバルプールのサイズを確認して、内部のネットワーククライアント数と比較できます。または、変換と接続のタイムアウト間隔を短くします。このメッセージは、メモリ不足が原因で表示される可能性もあります。その場合は、メモリ使用量を減らすか、または増設メモリを購入してみます。

## 302035

**エラーメッセージ** %ASA-6-302035: Built {inbound|outbound} SCTP connection *conn\_id* for *outside\_interface* :*outside\_ip* /*outside\_port* (*mapped\_outside\_ip* /*mapped\_outside\_port*) [(*outside\_idfw\_user* ], [*outside\_sg\_info* ])] to *inside\_interface* :*inside\_ip* /*inside\_port* (*mapped\_inside\_ip* /*mapped\_inside\_port*) [(*inside\_idfw\_user* ], [*inside\_sg\_info* ])] [(*user* )]

**説明** SCTP 状態バイパスが設定されていないときの SCTP フローの作成が記録されます。

- *conn\_id* : 固有の接続 ID
- *outside\_interface* : セキュリティ レベルが低いインターフェイス
- *outside\_ip* : ASA でセキュリティ レベルが低い側にあるホストの IP アドレス
- *outside\_port* : ASA でセキュリティ レベルが低い側にあるホストのポート番号
- *mapped\_outside\_ip* : ASA でセキュリティ レベルが低い側にあるホストのマッピングされている IP アドレス
- *mapped\_outside\_port* : ASA でセキュリティ レベルが低い側にあるホストのマッピングされているポート番号
- *outside\_idfw\_user* : ASA でセキュリティ レベルが低い側にあるホストに関連付けられている IDFW ユーザ名
- *outside\_sg\_info* : ASA でセキュリティ レベルが低い側にあるホストに関連付けられている SGT と SG 名
- *inside\_interface* : セキュリティ レベルが高いインターフェイス
- *inside\_ip* : ASA でセキュリティ レベルが高い側にあるホストの IP アドレス
- *inside\_port* : ASA でセキュリティ レベルが高い側にあるホストのポート番号
- *mapped\_inside\_ip* : ASA でセキュリティ レベルが高い側にあるホストのマッピングされている IP アドレス
- *mapped\_inside\_port* : ASA の高いセキュリティ レベル側のホストのマッピングされているポート番号
- *inside\_idfw\_user* : ASA でセキュリティ レベルが高い側にあるホストに関連付けられている IDFW ユーザ名
- *inside\_sg\_info* : ASA でセキュリティ レベルが高い側にあるホストに関連付けられている SGT と SG 名
- *user* : 接続が開始されたホストに関連付けられているユーザ名。

**推奨アクション** 不要。

## 302036

951 complete topic

**エラーメッセージ** %ASA-6-302036: Teardown Sctp connection *conn\_id* for *outside\_interface* :*outside\_ip* /*outside\_port* [[*outside\_idfw\_user* ],*outside\_sg\_info* ]] to *inside\_interface* :*inside\_ip* /*inside\_port* [[*inside\_idfw\_user* ],*inside\_sg\_info* ]] duration time bytes bytes reason [(*user* )]

**説明** Sctp 状態バイパスが設定されていない場合の Sctp フローの削除の記録です。

- *conn\_id* : 固有の接続 ID
- *outside\_interface* : セキュリティ レベルが低いインターフェイス
- *outside\_ip* : ASA でセキュリティ レベルが低い側にあるホストの IP アドレス
- *outside\_port* : ASA でセキュリティ レベルが低い側にあるホストのポート番号
- *outside\_idfw\_user* : ASA でセキュリティ レベルが低い側にあるホストに関連付けられている IDFW ユーザ名
- *outside\_sg\_info* : ASA でセキュリティ レベルが低い側にあるホストに関連付けられている SGT と SG 名
- *inside\_interface* : セキュリティ レベルが高いインターフェイス
- *inside\_ip* : ASA でセキュリティ レベルが高い側にあるホストの IP アドレス
- *inside\_port* : ASA でセキュリティ レベルが高い側にあるホストのポート番号
- *inside\_idfw\_user* : ASA でセキュリティ レベルが高い側にあるホストに関連付けられている IDFW ユーザ名
- *inside\_sg\_info* : ASA でセキュリティ レベルが高い側にあるホストに関連付けられている SGT と SG 名
- *user* : 接続が開始されたホストに関連付けられているユーザ名。
- *time* : hh:mm:ss で示すフローの存続時間
- *bytes* : フローで渡されたバイトの数
- *reason* : 接続が切断された理由

**推奨アクション** 不要。

## 302302

**エラーメッセージ** %ASA-3-302302: ACL = deny; no sa created

**説明** IPSec プロキシのミスマッチが発生しました。ネゴシエートした SA のプロキシホストは、deny access-list コマンド ポリシーに対応します。

**推奨アクション** コンフィギュレーションの access-list コマンド文を確認します。ピアの管理者にお問い合わせください。

## 302303

**エラーメッセージ** %ASA-6-302303: Built TCP state-bypass connection *conn\_id* from *initiator\_interface* :*real\_ip* /*real\_port* (*mapped\_ip* /*mapped\_port* ) to *responder\_interface* :*real\_ip* /*real\_port* (*mapped\_ip* /*mapped\_port* )

**説明**新しい TCP 接続が作成されました。この接続は、TCP 状態バイパス接続です。このタイプの接続では、すべての TCP 状態チェックと追加のセキュリティ チェックおよび検査がバイパスされます。

**推奨アクション**標準的なすべての TCP 状態チェックと他のすべてのセキュリティ チェックおよび検査によって TCP トラフィックを保護する必要がある場合は、**no set connection advanced-options tcp-state-bypass** コマンドを使用して、TCP トラフィックに対してこの機能をディセーブルにできます。

## 302304

**エラーメッセージ** %ASA-6-302304: Teardown TCP state-bypass connection *conn\_id* from *initiator\_interface* :*ip*/*port* to *responder\_interface* :*ip*/*port* *duration* , *bytes* , *teardown reason* .

**説明**新しい TCP 接続が切断されました。この接続は、TCP 状態バイパス接続です。このタイプの接続では、すべての TCP 状態チェックと追加のセキュリティ チェックおよび検査がバイパスされます。

- *duration* : TCP 接続の期間
- *bytes* : TCP 接続で転送された合計バイト数
- *teardown reason* : TCP 接続の切断原因

**推奨アクション**標準的なすべての TCP 状態チェックと他のすべてのセキュリティ チェックおよび検査によって TCP トラフィックを保護する必要がある場合は、**no set connection advanced-options tcp-state-bypass** コマンドを使用して、TCP トラフィックに対してこの機能をディセーブルにできます。

## 302305

**エラーメッセージ** %ASA-6-302305: Built SCTP state-bypass connection *conn\_id* for *outside\_interface* :*outside\_ip* /*outside\_port* (*mapped\_outside\_ip* /*mapped\_outside\_port* ) [[*outside\_idfw\_user* ], [*outside\_sg\_info* ]] to *inside\_interface* :*inside\_ip* /*inside\_port* (*mapped\_inside\_ip* /*mapped\_inside\_port* ) [[*inside\_idfw\_user* ], [*inside\_sg\_info* ]]

**説明** SCTP 状態バイパスが設定されている場合の SCTP フローの作成の記録です。

- *conn\_id* : 固有の接続 ID
- *outside\_interface* : セキュリティ レベルが低いインターフェイス
- *outside\_ip* : ASA でセキュリティ レベルが低い側にあるホストの IP アドレス
- *outside\_port* : ASA でセキュリティ レベルが低い側にあるホストのポート番号
- *mapped\_outside\_ip* : ASA でセキュリティ レベルが低い側にあるホストのマッピングされている IP アドレス

- *mapped\_outside\_port* : ASA でセキュリティ レベルが低い側にあるホストのマッピングされているポート番号
- *outside\_idfw\_user* : ASA でセキュリティ レベルが低い側にあるホストに関連付けられている IDFW ユーザ名
- *outside\_sg\_info* : ASA でセキュリティ レベルが低い側にあるホストに関連付けられている SGT と SG 名
- *inside\_interface* : セキュリティ レベルが高いインターフェイス
- *inside\_ip* : ASA でセキュリティ レベルが高い側にあるホストの IP アドレス
- *inside\_port* : ASA でセキュリティ レベルが高い側にあるホストのポート番号
- *mapped\_inside\_ip* : ASA でセキュリティ レベルが高い側にあるホストのマッピングされている IP アドレス
- *mapped\_inside\_port* : ASA の高いセキュリティ レベル側のホストのマッピングされているポート番号
- *inside\_idfw\_user* : ASA でセキュリティ レベルが高い側にあるホストに関連付けられている IDFW ユーザ名
- *inside\_sg\_info* : ASA でセキュリティ レベルが高い側にあるホストに関連付けられている SGT と SG 名

推奨アクション 不要。

## 302306

**エラーメッセージ** %ASA-6-302306: Teardown SCTP state-bypass connection *conn\_id* for *outside\_interface* :*outside\_ip* /*outside\_port* [[*outside\_idfw\_user* ],*outside\_sg\_info* ]] to *inside\_interface* :*inside\_ip* /*inside\_port* [[*inside\_idfw\_user* ],*inside\_sg\_info* ]] duration time bytes bytes reason

**説明** SCTP 状態バイパスが設定されている場合の SCTP フローの削除の記録です。

- *conn\_id* : 固有の接続 ID
- *outside\_interface* : セキュリティ レベルが低いインターフェイス
- *outside\_ip* : ASA でセキュリティ レベルが低い側にあるホストの IP アドレス
- *outside\_port* : ASA でセキュリティ レベルが低い側にあるホストのポート番号
- *outside\_idfw\_user* : ASA でセキュリティ レベルが低い側にあるホストに関連付けられている IDFW ユーザ名
- *outside\_sg\_info* : ASA でセキュリティ レベルが低い側にあるホストに関連付けられている SGT と SG 名
- *inside\_interface* : セキュリティ レベルが高いインターフェイス
- *inside\_ip* : ASA でセキュリティ レベルが高い側にあるホストの IP アドレス
- *inside\_port* : ASA でセキュリティ レベルが高い側にあるホストのポート番号
- *inside\_outside\_ip* : ASA でセキュリティ レベルが高い側にあるホストのマッピングされている IP アドレス
- *inside\_idfw\_user* : ASA でセキュリティ レベルが高い側にあるホストに関連付けられている IDFW ユーザ名

- *inside\_sg\_info* : ASA でセキュリティ レベルが高い側にあるホストに関連付けられている SGT と SG 名
- *time* : hh:mm:ss で示すフローの存続時間
- *bytes* : フローで渡されたバイトの数
- *reason* : 接続が切断された理由

推奨アクション 不要。

## 302311

**エラーメッセージ** %ASA-4-302311: Failed to create a new *protocol* connection from *ingress interface:source IP/source port* to *egress interface:destination IP/destination port* due to application cache memory allocation failure. The app-cache memory threshold level is *threshold%* and threshold check is *enabled/disabled*.

**説明**アプリケーション キャッシュ メモリ割り当てに失敗したために、新しい接続を作成できませんでした。この障害は、システムのメモリ不足またはシステムがアプリケーションキャッシュ メモリしきい値を超えたことが原因である可能性があります。

- *protocol* : 接続を作成するために使用されるプロトコルの名前
- *ingress interface* : インターフェイス名
- *source IP* : 送信元 IP アドレス
- *source port* : 送信元ポート番号
- *egress interface* : インターフェイス名
- *destination IP* : 宛先アドレス
- *destination port* : 宛先ポート番号
- *threshold%* : メモリしきい値のパーセンテージ値
- *enabled/disabled* : アプリケーション キャッシュ メモリしきい値機能の有効化/無効化

**推奨アクション**デバイスでメモリを大量に消費する機能を無効にするか、*through-the-box* 接続の数を減らします。

## 303002

**エラーメッセージ** %ASA-6-303002: FTP connection from *src\_ifc :src\_ip /src\_port* to *dst\_ifc :dst\_ip /dst\_port* , user *username* action *file filename*

**説明**クライアントは、FTPサーバとの間でファイルをアップロードまたはダウンロードしました。

- *src\_ifc* : クライアントが存在するインターフェイス。
- *src\_ip* : クライアントの IP アドレス。
- *src\_port* : クライアントポート。
- *dst\_ifc* : サーバが存在するインターフェイス。

- **dst\_ip** : FTP サーバの IP アドレス。
- **dst\_port** : サーバ ポート。
- **username** : FTP ユーザ名。
- **action** : 保存または取得されたアクション。
- **filename** : 保存または取得したファイル。

推奨アクション必要なし。

## 303004

**エラーメッセージ** %ASA-5-303004: FTP *cmd\_string* command unsupported - failed strict inspection, terminating connection from *source\_interface* :*source\_address* /*source\_port* to *dest\_interface* :*dest\_address*/*dest\_interface*

**説明** FTP トラフィックの厳密な FTP 検査が使用された、または FTP 要求メッセージに、デバイスに認識されないコマンドが含まれています。

推奨アクション必要なし。

## 303005

**エラーメッセージ** %ASA-5-303005: Strict FTP inspection matched *match\_string* in policy-map *policy-name* , *action\_string* from *src\_ifc* :*sip* /*sport* to *dest\_ifc* :*dip* /*dport*

**説明** FTP 検査で、設定済みの値（ファイル名、ファイルタイプ、要求コマンド、サーバ、ユーザ名）のいずれかと一致した場合、このメッセージの *action\_string* で指定されたアクションが実行されます。

- **match\_string** : ポリシー マップ内の **match** 節
- **policy-name** : 一致したポリシー マップ
- **action\_string** : 実行するアクション（たとえば、Reset Connection）
- **src\_ifc** : 送信元インターフェイス名
- **sip** : 送信元 IP アドレス
- **sport** : 送信元ポート
- **dest\_ifc** : 宛先インターフェイス名
- **dip** : 宛先 IP アドレス
- **dport** : 宛先ポート

推奨アクション必要なし。

## 304001

**エラーメッセージ** %ASA-5-304001: *user@source\_address* [(*idfw\_user*)] Accessed URL *dest\_address* : *url* .

**説明** 指定したホストが指定された URL にアクセスしようとした。カスタムの HTTP ポリシー マップを使った HTTP 検査を有効にする場合は、以下の可能性があります。GET リクエストのパケットにホスト名パラメータが含まれていない場合、URI を出力する代わり

に、%ASA-5-304001: client IP Accessed URL server ip:Hostname not present URI: URI というメッセージが出力されます。URIが大きくて1つのSyslogで出力できない場合は、分割して部分的に出力できます。たとえば、URLを複数のチャンクに分割して記録する場合、%ASA-5-304001: client IP Accessed URL server ip: http(/ftp)://hostname/URI\_CHUNK1 partial%ASA-5-304001: client IP Accessed URL server ip: partial URI\_CHUNK1 partial.....%ASA-5-304001: client IP Accessed URL server ip: partial URI\_CHUNKn というメッセージが出力されます。URIの制限は1024バイトです。現在のパケットで最初または最後に部分的なURIが含まれている場合は、上記で説明したとおりのロジックを使用します。

推奨アクション 不要。

## 304002

**エラーメッセージ** %ASA-5-304002: Access denied URL chars SRC IP\_address [(idfw\_user)]  
DEST IP\_address : chars

説明 送信元アドレスから指定されたURLまたはFTPサイトへのアクセスが拒否されました。

推奨アクション 不要。

## 304003

**エラーメッセージ** %ASA-3-304003: URL Server IP\_address timed out URL url

説明 URLサーバがタイムアウトになっています。

推奨アクション 不要。

## 304004

**エラーメッセージ** %ASA-6-304004: URL Server IP\_address request failed URL url

説明 Websenseサーバ要求が失敗しました。

推奨アクション 不要。

## 304005

**エラーメッセージ** %ASA-7-304005: URL Server IP\_address request pending URL url

説明 Websenseサーバ要求が保留中です。

推奨アクション 不要。

## 304006

**エラーメッセージ** %ASA-3-304006: URL Server IP\_address not responding



**説明** Websense サーバはアクセスに使用できません。ASA は、Websense サーバがインストールされている唯一のサーバである場合は同サーバに、または複数のサーバがある場合は別のサーバにアクセスしようとします。

**推奨アクション** 不要。

## 304007

**エラー メッセージ** %ASA-2-304007: URL Server *IP\_address* not responding, ENTERING ALLOW mode.

**説明** filter コマンドの allow オプションを使用したところ、Websense サーバが応答していません。ASA は、サーバが使用できない間すべての Web 要求がフィルタリングせずに継続できるようにします。

**推奨アクション** 不要。

## 304008

**エラー メッセージ** %ASA-2-304008: LEAVING ALLOW mode, URL Server is up.

**説明** filter コマンドの allow オプションを使用したところ、ASA は以前は応答しなかった Websense サーバから応答メッセージを受け取りました。この応答メッセージにより、ASA は allow モードを終了します。これで URL フィルタリング機能が再びイネーブルになります。

**推奨アクション** 不要。

## 304009

**エラー メッセージ** %ASA-7-304009: Ran out of buffer blocks specified by url-block command

**説明** URL 保留バッファブロックが領域を使い切りました。

**推奨アクション** `url-block block block_size` コマンドを入力して、バッファブロックサイズを変更します。

## 305005

**エラー メッセージ** %ASA-3-305005: No translation group found for protocol src interface\_name: source\_address/source\_port [(idfw\_user)] dst interface\_name: dest\_address /dest\_port [(idfw\_user)]

**説明** パケットがどの発信 nat コマンド規則とも一致しません。指摘された送信元システムおよび宛先システムに NAT が設定されていない場合、メッセージは頻繁に生成されます。

**推奨アクション** このメッセージはコンフィギュレーションエラーを示します。送信元ホストにダイナミック NAT が望ましい場合は、`nat` コマンドが送信元 IP アドレスと一致することを確認します。送信元ホストにスタティック NAT が望ましい場合は、`static` コマンドのローカル IP アドレスが一致することを確認します。送信元ホストに NAT が望ましくない場合は、NAT 0 ACL にバインドされている ACL を確認します。

## 305006

**エラーメッセージ** %ASA-3-305006: (outbound static|identity|portmap|regular) translation creation failed for protocol src interface\_name:source\_address/source\_port [(idfw\_user)] dst interface\_name:dest\_address/dest\_port [(idfw\_user)]

**説明**プロトコル (UDP、TCP、または ICMP) が ASA 経由で変換を作成できませんでした。ASAは、ネットワーク アドレスまたはブロードキャストアドレス宛てのパケットの通過を許可していません。ASA は、static コマンドで明示的に識別されるアドレスに対してこのチェックを行います。着信トラフィックの場合、ASAはネットワークアドレスまたはブロードキャストアドレスと識別された IP アドレスの変換を拒否します。

ASAは、すべての ICMP メッセージタイプに PAT を適用するのではなく、ICMP エコーとエコー応答パケット (タイプ 8 と 0) に限り PAT を適用します。特に、ICMP エコーまたはエコー応答パケットだけが、PAT 変換を作成します。そのため、他の ICMP メッセージタイプが廃棄されるとき、このメッセージが生成されます。

ASA は、設定済み static コマンドのグローバル IP アドレスとマスクを使用して、標準 IP アドレスを、ネットワーク IP アドレスまたはブロードキャスト IP アドレスと区別します。グローバル IP アドレスが、一致するネットワーク マスクを持つ有効なネットワークアドレスである場合、ASAは着信パケットのネットワーク IP アドレスまたはブロードキャスト IP アドレスに対して変換を作成しません。

次に例を示します。

```
static (inside,outside) 10.2.2.128 10.1.1.128 netmask 255.255.255.128
```

ASAは、ネットワークアドレスとしてグローバルアドレス 10.2.2.128 に応答し、ブロードキャストアドレスとして 10.2.2.255 に応答します。既存の変換がない場合、ASAは、10.2.2.128 または 10.2.2.255 宛ての着信パケットを拒否して、このメッセージに記録します。

疑わしい IP アドレスがホスト IP アドレスである場合、サブネット static コマンドの直前にホストマスクを持つ別の static コマンドを設定します (static コマンドに対する最初の一致規則)。その後の static コマンドでは、ASAがホストアドレスとして 10.2.2.128 に応答します。

```
static (inside,outside) 10.2.2.128 10.2.2.128 netmask 255.255.255.255static
(inside,outside) 10.2.2.128 10.2.2.128 netmask 255.255.255.128
```

変換は、疑わしい IP アドレスを持つ内部ホストから開始されるトラフィックによって作成される可能性があります。ASAはネットワーク IP アドレスまたはブロードキャスト IP アドレスを重複したサブネットスタティック コンフィギュレーションを持つホスト IP と見なすので、両方の static コマンドのネットワーク アドレス変換は同じである必要があります。

**推奨アクション**必要なし。

## 305007

**エラーメッセージ** %ASA-6-305007: addrpool\_free(): Orphan IP IP\_address on interface interface\_number

説明 ASA が、自分のグローバルプールで見つけれないアドレスを変換しようとした。ASA は、アドレスが削除されているとして、要求を廃棄します。

推奨アクション 不要。

## 305008

エラーメッセージ %ASA-3-305008: Free unallocated global IP address.

説明 ASA カーネルは、割り当てられていないグローバル IP アドレスを解放してアドレスプールに戻そうとしたときに、不整合状態を検出しました。この異常状態は、ASA がステートフルフェールオーバーセットアップを実行中で、一部の内部状態がアクティブ装置とスタンバイ装置との間で瞬間的に同期していない場合に発生する可能性があります。この状態は破局的なものではなく、同期は自動的に回復します。

推奨アクション 問題が解決しない場合は、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 305009

エラーメッセージ %ASA-6-305009: Built {dynamic|static} translation from *interface\_name* [(*acl-name*):*real\_address* [(*idfw\_user*)] to *interface\_name* :*mapped\_address*

説明 アドレス変換スロットが作成されました。スロットは、送信元アドレスをローカル側からグローバル側に変換します。また、逆方向では、宛先アドレスをグローバル側からローカル側に変換します。

推奨アクション 必要なし。

## 305010

エラーメッセージ %ASA-6-305010: Teardown {dynamic|static} translation from *interface\_name* :*real\_address* [(*idfw\_user*)] to *interface\_name* :*mapped\_address* duration *time*

説明 アドレス変換スロットが削除されました。

推奨アクション 必要なし。

## 305011

エラーメッセージ %ASA-6-305011: Built {dynamic|static} {TCP|UDP|ICMP} translation from *interface\_name* :*real\_address/real\_port* [(*idfw\_user*)] to *interface\_name* :*mapped\_address/mapped\_port*

説明 TCP、UDP、または ICMP アドレス変換スロットが作成されました。スロットは、ローカル側からグローバル側に送信元ソケットを変換します。逆に、スロットは、グローバル側からローカル側に宛先ソケットを変換します。

推奨アクション 必要なし。

## 305012

**エラーメッセージ** %ASA-6-305012: Teardown {dynamic|static} {TCP|UDP|ICMP} translation from *interface\_name* [(*acl-name* )]:*real\_address* /{*real\_port* |*real\_ICMP\_ID* } [(*idfw\_user* )] to *interface\_name* :*mapped\_address* /{*mapped\_port* |*mapped\_ICMP\_ID* } *duration time*

説明アドレス変換スロットが削除されました。

推奨アクション必要なし。

## 305013

**エラーメッセージ** %ASA-5-305013: Asymmetric NAT rules matched for forward and reverse flows; Connection *protocol* *src interface\_name* :*source\_address* /*source\_port* [(*idfw\_user* )] *dst interface\_name* :*dst\_address* /*dst\_port* [(*idfw\_user* )] denied due to NAT reverse path failure.

説明実際のアドレスを使用して、マップされたホストへの接続を試みましたが、拒否されました。

推奨アクション NAT を使用するホストと同じインターフェイス上にないホストに接続する場合は、実際のアドレスではなく、マップされたアドレスを使用します。また、アプリケーションに IP アドレスが埋め込まれている場合は、**inspect** コマンドをイネーブルにします。

## 305014

**エラーメッセージ** %ASA-6-305014: Allocated block of ports for translation from *real\_interface* :*real\_host\_ip* /*real\_source\_port* to *real\_dest\_interface* :*real\_dest\_ip* /*real\_dest\_port*.

説明 CGNAT の「block-allocation」が設定されている場合、この syslog は新しいポートブロックの割り当て時に生成されます。

推奨アクションなし。

## 305016

**エラーメッセージ** %ASA-3-305016: Unable to create *protocol* connection from *real\_interface* :*real\_host\_ip* /*real\_source\_port* to *real\_dest\_interface* :*real\_dest\_ip* /*real\_dest\_port* due to *reason* .

説明ホストごとの最大ポートブロックの制限数に達しているか、またはポートブロックが枯渇しています。

- *reason* : 次のいずれかになります。
  - ホストごとの PAT ポートブロック制限 *value* に達した
  - PAT プール内のポートブロックの枯渇

推奨アクション ホストごとの PAT ポートブロック制限に達した場合は、次のコマンドを入力して、ホストごとの最大ブロック制限数を確認します。

```
xlate block-allocation maximum-per-host 4
```

PAT プール内のポートブロックの枯渇の場合は、プールのサイズを増やすことを推奨します。また、次のコマンドを入力して、ブロック サイズも確認してください。

```
xlate block-allocation size 512
```

## 305017

**エラーメッセージ** %ASA-3-305017: Pba-interim-logging: Active ICMP block of ports for translation from <source device IP> to <destination device IP>/<Active Port Block>

**説明** CGNAT 一時ロギング機能がオンになっている場合、この Syslog により、特定のソース IP アドレスからその時点の宛先 IP アドレスへのアクティブポートブロックが示されます。

推奨処置なし。

## 305018

**エラーメッセージ** % ASA-6-305018: MAP translation from  
*src\_ifc:src\_ip/src\_port-dst\_ifc:dst\_ip/dst\_port* to  
*src\_ifc:translated\_src\_ip/src\_port-dst\_ifc:translated\_dst\_ip/dst\_port*

**説明** 確立されている接続に MAP スタイルのアドレス変換が適用され、その送信元と宛先が変換されました。

例:

```
%ASA-6-305018: MAP translation from  
inside:2001:DB8:0000:0000:0000:0000:0000:0002/57964-outside:2001:DB8:FFFF:0000:0000:0000:0001/22  
to inside:192.168.101.210/57964-outside:192.168.100.203/22
```

推奨処置なし。

## 305019

**エラーメッセージ** % ASA-3-305019: MAP node address *ip/port* has 不整合 port Set ID encoding

**説明** パケットのアドレスは MAP の基本的なマッピングルールに一致しますが（つまり、変換されることを意味します）、アドレス内でエンコードされたポートセット ID には（RFC7599 との）一貫性がありません。これは、このパケットの発信元である MAP ノードのソフトウェア障害が原因である可能性があります。

例

```
%ASA-3-305019: MAP node address 2001:DB8:0000:FFFF:0000:0000:0000:0002/57964 has  
inconsistent Port Set ID encoding
```

推奨処置なし。

## 305020

**エラーメッセージ** %ASA-3-305020: MAP node with address *ip* is not allowed to use port *port*\n

**説明** パケットには、MAPの基本的なマッピングルール（つまり、変換されることを意味する）に一致するアドレスがありますが、関連するポートは、そのアドレスに割り当てられた範囲内にありません。これは、このパケットの発信元である MAP ノードの設定に誤りがある可能性が高いことを意味します。

例:

```
%ASA-3-305020: MAP node with address 2001:DB8:0000:0000:0000:0000:0002 is not allowed
to use port 37964\n
```

**推奨処置**なし。

## 308001

**エラーメッセージ** %ASA-6-308001: console enable password incorrect for *number* tries (from *IP\_address* )

**説明**これは ASA 管理メッセージです。このメッセージは、特権モードに入るためにユーザがパスワードを指摘された回数だけ誤って入力した後に表示されます。最大試行回数は3回です。

**推奨アクション**パスワードを確認し、再度試行します。

## 308002

**エラーメッセージ** %ASA-4-308002: static *global\_address* *inside\_address* netmask *netmask* overlapped with *global\_address* *inside\_address*

**説明**1つまたは複数の static コマンド文の IP アドレスが重複しています。**global\_address** は低セキュリティレベルのインターフェイス上のアドレスであるグローバルアドレスであり、**inside\_address** は高セキュリティレベルのインターフェイス上のアドレスであるローカルアドレスです。

**推奨アクション** show static コマンドを使用してコンフィギュレーションの static コマンド文を表示し、重複しているコマンドを修正します。最も一般的な重複は、10.1.1.0などのネットワークアドレスを指定して、別の static コマンドで 10.1.1.5 などその範囲内にあるホストを指定する場合に発生します。

## 308003

**エラーメッセージ** %ASA-4-308003: WARNING: the enable password is not configured

**説明**イネーブルモード（権限レベル2以上）に入る際にイネーブルパスワードが設定されていない場合は、権限レベル15のイネーブルパスワードを設定する必要があります。

推奨アクション イネーブルパスワードを設定します。許可されるパスワードの長さは3~15です。

## 308004

エラーメッセージ %ASA-4-308004: the enable password has has configured by user admin

説明初めてイネーブルパスワードを設定している。このメッセージは、既存のイネーブルパスワードを変更すると表示されません。

推奨アクション なし。

## 311001

エラーメッセージ %ASA-6-311001: LU loading standby start

説明スタンバイ ASA が最初にオンラインになるときに、ステートフルフェールオーバーアップデート情報がスタンバイ ASA に送信されました。

推奨アクション 必要なし。

## 311002

エラーメッセージ %ASA-6-311002: LU loading standby end

説明ステートフルフェールオーバーアップデート情報が、スタンバイ ASA への送信を停止しました。

推奨アクション 必要なし。

## 311003

エラーメッセージ %ASA-6-311003: LU recv thread up

説明アップデート肯定応答がスタンバイ ASA から受信されました。

推奨アクション 必要なし。

## 311004

エラーメッセージ %ASA-6-311004: LU xmit thread up

説明ステートフルフェールオーバーアップデート情報が、スタンバイ ASA に送信されました。

推奨アクション 必要なし。

## 312001

**エラーメッセージ** %ASA-6-312001: RIP hdr failed from *IP\_address* : cmd=*string* ,  
version=*number* domain=*string* on interface *interface\_name*

**説明** ASA が応答以外のオペレーションコードを持つ RIP メッセージを受信し、メッセージはこのインターフェイスで予想されるバージョン番号とは異なる番号を持ち、ルーティングドメインのエントリは非ゼロでした。別の RIP デバイスは ASA と通信するように正しく設定されていない可能性があります。

**推奨アクション** 必要なし。

## 313001

**エラーメッセージ** %ASA-3-313001: Denied ICMP type=*number* , code=*code* from *IP\_address* on  
interface *interface\_name*

**説明** icmp コマンドをアクセスリストとともに使用している場合、最初に一致したエントリが許可エントリであれば、ICMP パケットは処理を続行します。最初に一致したエントリが拒否エントリの場合、またはエントリが一致しなかった場合、ASA は ICMP パケットを廃棄し、このメッセージを生成します。icmp コマンドは、インターフェイスへの ping をイネーブルまたはディセーブルにします。ping の実行がディセーブルの場合、ASA はネットワーク上で検出できません。この機能は、設定可能なプロキシ ping とも呼ばれます。

**推奨アクション** ピア デバイスの管理者にお問い合わせください。

## 313004

**エラーメッセージ** %ASA-4-313004: Denied ICMP type=*icmp\_type* , from *source\_address* on  
interface *interface\_name* to *dest\_address* :no matching session

**説明** ステートフル ICMP 機能で追加されたセキュリティチェックのため、ICMP パケットが ASA によって廃棄されました。通常、これに該当するのは、すでに ASA を通過した有効なエコー要求を含まない ICMP エコー応答、またはすでに ASA で確立されている TCP、UDP、または ICMP セッションに関連しない ICMP エラーメッセージのいずれかです。

**推奨アクション** 必要なし。

## 313005

**エラーメッセージ** %ASA-4-313005: No matching connection for ICMP error message:  
*icmp\_msg\_info* on *interface\_name* interface. Original IP payload: *embedded\_frame\_info*  
*icmp\_msg\_info* = icmp src *src\_interface\_name* :*src\_address* [[*idfw\_user* | *FQDN\_string* ],  
*sg\_info* ]] dst *dest\_interface\_name* :*dest\_address* [[*idfw\_user* | *FQDN\_string* ],  
*sg\_info* ]] (type *icmp\_type*, code *icmp\_code*) *embedded\_frame\_info* = prot *src*  
*source\_address* /*source\_port* [[*idfw\_user* | *FQDN\_string* ], *sg\_info* ]] dst *dest\_address*  
/*dest\_port* [*idfw\_user* | *FQDN\_string* ], *sg\_info* ]

**説明** ICMP エラーメッセージが ASA ですでに確立されているどのセッションとも関連しないため、ICMP エラーパケットが ASA によって廃棄されました。



推奨アクション原因が攻撃にある場合、ACL を使用してホストを拒否することができます。

## 313008

**エラーメッセージ** %ASA-3-313008: Denied ICMPv6 type=*number* , code=*code* from *IP\_address* on interface *interface\_name*

**説明** **icmp** コマンドをアクセス リストとともに使用している場合、最初に一致したエントリが許可エントリであれば、ICMPv6 パケットは処理を続行します。最初に一致したエントリが拒否エントリの場合、またはエントリが一致しなかった場合、ASA は ICMPv6 パケットを廃棄し、このメッセージを生成します。

**icmp** コマンドは、インターフェイスへの ping をイネーブルまたはディセーブルにします。ping をディセーブルにすると、ASA がネットワーク上で検出できなくなります。この機能は、設定可能なプロキシ ping とも呼ばれます。

**推奨アクション** ピア デバイスの管理者にお問い合わせください。

## 313009

**エラーメッセージ** %ASA-4-313009: Denied invalid ICMP code *icmp-code* , for *src-ifc* :*src-address* /*src-port* (mapped-*src-address*/mapped-*src-port*) to *dest-ifc* :*dest-address* /*dest-port* (mapped-*dest-address*/mapped-*dest-port*) [*user* ], ICMP id *icmp-id* , ICMP type *icmp-type*

**説明** コードが不正な（ゼロ以外）ICMP エコー要求または応答パケットを受信しました。

**推奨アクション** 断続的なイベントの場合は、対処不要です。原因が攻撃にある場合、ACL を使用してホストを拒否することができます。

## 314001

**エラーメッセージ** %ASA-6-314001: Pre-allocated RTSP UDP backconnection for *src\_intf* :*src\_IP* to *dst\_intf* :*dst\_IP* /*dst\_port*.

**説明** ASA が、サーバからデータを受信していた RTSP クライアントに対して UDP メディアチャンネルを開きました。

- *src\_intf* : 送信元インターフェイス名
- *src\_IP* : 送信元インターフェイス IP アドレス
- *dst\_intf* : 宛先インターフェイス名
- *dst\_IP* : 宛先 IP アドレス
- *dst\_port* : 宛先ポート

**推奨アクション** 必要なし。

## 314002

**エラーメッセージ** %ASA-6-314002: RTSP failed to allocate UDP media connection from *src\_intf* : *src\_IP* to *dst\_intf* : *dst\_IP* / *dst\_port* : *reason\_string*.

**説明** ASA がメディア チャネルに対して新しいピンホールを開くことができません。

- *src\_intf* : 送信元インターフェイス名
- *src\_IP* : 送信元インターフェイス IP アドレス
- *dst\_intf* : 宛先インターフェイス名
- *dst\_IP* : 宛先 IP アドレス
- *dst\_port* : 宛先ポート
- *reason\_string* : 「Pinhole already exists」または「Unknown」

**推奨アクション**原因が不明な場合は、ASA のメモリが不足しているため、**show memory** コマンドを実行して利用可能な空きメモリを確認するか、または **show conn** コマンドを実行して使用されている接続数を確認します。

## 314003

**エラーメッセージ** %ASA-6-314003: Dropped RTSP traffic from *src\_intf* : *src\_ip* due to: *reason*.

**説明** RTSP メッセージに予約ポート範囲内のポートが含まれているか、または最大許容制限を超える長さの URL が含まれているため、RTSP メッセージがユーザ設定の RTSP セキュリティポリシーに違反しました。

- *src\_intf* : 送信元インターフェイス名
- *src\_IP* : 送信元インターフェイス IP アドレス
- *reason* : 原因。次のいずれかの可能性があります。

- エンドポイントが予約ポート範囲 0 ~ 1024 のメディア ポートをネゴシエートしています。

- URL の長さ (*url length* バイト) が最大長 (*url length limit* バイト) を超えています。

**推奨アクション**RTSP クライアントがセキュリティポリシーに違反するメッセージを送信する原因を調査します。要求された URL が正当である場合は、RTSP ポリシーマップで、より長い URL 長制限を指定して、ポリシーを緩和できます。

## 314004

**エラーメッセージ** %ASA-6-314004: RTSP client *src\_intf*:*src\_IP* accessed RTSP URL *RTSP URL*

**説明** RTSP クライアントが RTSP サーバにアクセスしようとしてしました。

- *src\_intf* : 送信元インターフェイス名
- *src\_IP* : 送信元インターフェイス IP アドレス
- *RTSP URL* : RTSP サーバの URL

**推奨アクション** 不要。

## 314005

**エラー メッセージ** %ASA-6-314005: RTSP client *src\_intf:src\_IP* denied access to URL *RTSP\_URL*.

**説明** RTSP クライアントが禁止サイトにアクセスしようとした。

- *src\_intf* : 送信元インターフェイス名
- *src\_IP* : 送信元インターフェイス IP アドレス
- *RTSP\_URL* : RTSP サーバの URL

**推奨アクション** 不要。

## 314006

**エラー メッセージ** %ASA-6-314006: RTSP client *src\_intf:src\_IP* exceeds configured rate limit of rate for *request\_method* messages.

**説明** 特定の RTSP 要求メッセージが、RTSP ポリシーの設定済みレート制限を超えました。

- *src\_intf* : 送信元インターフェイス名
- *src\_IP* : 送信元インターフェイス IP アドレス
- *rate* : 設定済みレート制限
- *request\_method* : 要求メッセージのタイプ

**推奨アクション** クライアントからの特定の RTSP 要求メッセージがレート制限を超えた原因を調査します。

## 315004

**エラー メッセージ** %ASA-3-315004: Fail to establish SSH session because RSA host key retrieval failed.

**説明** ASA が、SSH セッションの確立に必要な RSA ホスト キーを見つけられません。ホスト キーが生成されていなかったため、またはこの ASA のライセンスが DES または 3DES 暗号化を許可しないために、ASA ホスト キーがない可能性があります。

**推奨アクション** ASA コンソールから **show crypto key mypubkey rsa** コマンドを入力して、RSA ホスト キーがあることを確認します。ホスト キーがない場合は、**show version** コマンドを入力して、DES または 3DES が許可されていることを確認します。RSA ホスト キーがある場合は、SSH セッションを再開します。RSA ホスト キーを生成するには、**crypto key mypubkey rsa** コマンドを入力します。

## 315011

**エラー メッセージ** %ASA-6-315011: SSH session from *IP\_address* on interface *interface\_name* for user *user* disconnected by SSH server, reason: *reason*

説明 SSH セッションが終了しました。ユーザが **quit** または **exit** を入力すると、**terminated normally** メッセージが表示されます。ユーザ名は無効な場合や不明な場合は表示されませんが、有効な場合または **no logging hide username** コマンドが設定されている場合は表示されます。別の原因でセッションが切断された場合は、テキストで原因が説明されます。次の表に、セッションが切断される理由として考えられるものを一覧表示します。

表 2: SSH 切断の原因

テキスト文字列	説明	アクション
Bad checkbytes	SSH キー交換中にチェックバイトにミスマッチが検出されました。	SSH セッションを再開します。
CRC check failed	特定の packets に対して計算された CRC 値が、packet に埋め込まれている CRC 値と一致しません。packet が不良です。	対処は不要です。このメッセージが引き続き表示される場合は、Cisco TAC にお問い合わせください。
Decryption failure	SSH キーの交換中に SSH セッションキーの解読が失敗しました。	RSA ホストキーを確認し、再度試行します。
Format error	非プロトコルバージョンのメッセージが、SSH バージョン交換中に受信されました。	SSH クライアントをチェックし、サポート対象のバージョンであることを確認します。
Internal error	このメッセージは、ASA 上の SSH の内部エラー、あるいは RSA キーが ASA に入力されていないか、または取得できないことを示します。	ASA コンソールから <b>show crypto key mypubkey rsa</b> コマンドを入力して、RSA ホストキーがあることを確認します。ホストキーがない場合は、 <b>show version</b> コマンドを入力して、DES または 3DES が許可されていることを確認します。RSA ホストキーがある場合は、SSH セッションを再開します。RSA ホストキーを生成するには、 <b>crypto key mypubkey rsa</b> コマンドを入力します。
Invalid cipher type	SSH クライアントがサポートされていない暗号を要求しました。	<b>show version</b> コマンドを入力し、ライセンスがサポートしている機能を確認してから、サポートされている暗号を使用するように SSH クライアントを再設定します。
Invalid message length	ASA に到着する SSH メッセージの長さが 262,144 バイトを超えているか、または 4,096 バイト未満です。データが破損している可能性があります。	対処は不要です。

テキスト文字列	説明	アクション
Invalid message type	ASA が非 SSH メッセージを受信したか、あるいはサポートされていない SSH メッセージまたは要求されていない SSH メッセージを受信しました。	ピアが SSH クライアントであるかどうかを確認します。ピアが SSHv1 をサポートしているクライアントであり、このメッセージが引き続き表示される場合は、ASA シリアル コンソールから <b>debug ssh</b> コマンドを入力して、デバッグメッセージを取り込みます。その後、Cisco TAC にお問い合わせください。
Out of memory	このメッセージは、ASA が SSH サーバで使用するメモリを割り当てられず、おそらくはトラフィックが多いため ASA がビジーになっている場合に表示されます。	後で SSH セッションを再開します。
Rejected by server	ユーザの認証に失敗しました。	ユーザ名とパスワードを確認するようユーザに求めます。
Reset by client	SSH クライアントが SSH_MSG_DISCONNECT メッセージを ASA に送信しました。	対処は不要です。
status code: hex (hex)	ユーザが、SSH コンソールで <b>quit</b> または <b>exit</b> を入力せずに、SSH クライアント ウィンドウ (Windows で実行中) を閉じました。	対処は不要です。クライアントをただ終了するのではなく、正常に終了するようユーザに推奨します。
Terminated by operator	SSH セッションが、ASA コンソールで <b>ssh disconnect</b> コマンドの入力により終了されました。	対処は不要です。
Time-out activated	SSH セッションが、ssh timeout コマンドで指定された継続時間を超えたため、タイムアウトしました。	SSH 接続を再開します。ssh timeout コマンドを使用して、5 分のデフォルト値を必要に応じて最大 60 分まで延長することができます。

推奨アクション 不要。

## 315012

エラーメッセージ %ASA-3-315012: Weak SSH type (alg) provided from client IP\_address on interface Int. Connection failed. Not FIPS 140-2 compliant.

説明 FIPS 140-2 認証の一部として、FIPS が有効な場合、SSH 接続を確立できるのは暗号方式として aes128-cbc または aes256-cbc、MAC として SHA1 を使用する場合があります。この Syslog は、受け入れられない暗号方式または MAC が使われている場合に生成されます。FIPS モードが無効の場合、この Syslog は表示されません。

- *type* : cipher または MAC
- *alg* : 受け入れられない暗号方式または MAC の名前
- *IP\_address* : クライアントの IP アドレス
- *int* : クライアントが接続しようとしているインターフェイス

推奨アクション 受け入れられる暗号方式または MAC を指定します。

## 315013

エラー メッセージ %ASA-6-315013: SSH session from <SSH client address> on interface <interface name> for user "<user name>" rekeyed successfully.

説明 この Syslog は、SSH のキー再生成が正常に完了したことを示すために必要です。これはコモンクライテリア認証の要件です。

- *SSH\_client\_address* : クライアントの IP アドレス
- *interface\_name* : クライアントが接続しようとしているインターフェイス
- *user\_name* : セッションに関連付けられているユーザ名

推奨アクション なし

## 316001

エラーメッセージ %ASA-3-316001: Denied new tunnel to *IP\_address* . VPN peer limit (*platform\_vpn\_peer\_limit*) exceeded

説明プラットフォーム VPN ピアの上限でサポートされているよりも多くの VPN トンネル (ISAKMP/IPSec) を同時に確立しようとした場合、過剰なトンネルは打ち切られます。

推奨アクション 必要なし。

## 316002

エラーメッセージ %ASA-3-316002: VPN Handle error: protocol=*protocol* , src *in\_if\_num* :*src\_addr* , dst *out\_if\_num* :*dst\_addr*

説明 VPN ハンドルがすでに存在するため、ASA は VPN ハンドルを作成できません。

- *protocol* : VPN フローのプロトコル
- *in\_if\_num* : VPN フローの入力インターフェイス番号
- *src\_addr* : VPN フローの送信元 IP アドレス
- *out\_if\_num* : VPN フローの出力インターフェイス番号
- *dst\_addr* : VPN フローの宛先 IP アドレス

**推奨アクション** このメッセージは、正常動作中に発生することもあります。ただし、メッセージが繰り返し表示され、VPNベースのアプリケーションに深刻な誤動作が発生する場合は、ソフトウェア障害が原因となっている可能性があります。次のコマンドを入力して詳細な情報を収集し、Cisco TAC に問題の調査を依頼してください。

```
capture
  name
  type asp-drop vpn-handle-error
show asp table classify crypto detail
show asp table vpn-context
```

## 317001

**エラーメッセージ** %ASA-3-317001: No memory available for limit\_slow

**説明** メモリが低下している状態のため、要求された操作が失敗しました。

**推奨アクション** 他のシステムアクティビティを減らしてメモリの使用を軽減します。状況に応じて、より大容量のメモリ構成にアップグレードしてください。

## 317002

**エラーメッセージ** %ASA-3-317002: Bad path index of number for IP\_address , number max

**説明** ソフトウェアのエラーが発生しました。

**推奨アクション** 問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 317003

**エラーメッセージ** %ASA-3-317003: IP routing table creation failure - reason

**説明** 内部ソフトウェアエラーが発生したため、新しいIPルーティングテーブルの作成が妨げられました。

**推奨アクション** メッセージをそのままコピーし、Cisco TAC に報告してください。

## 317004

**エラーメッセージ** %ASA-3-317004: IP routing table limit warning

**説明** 名前付きIPルーティングテーブル内のルート数が、設定された警告制限に到達しました。

**推奨アクション** テーブルのルート数を減らすか、制限を設定し直します。

## 317005

**エラーメッセージ** %ASA-3-317005: IP routing table limit exceeded - reason , IP\_address netmask

説明追加のルートがテーブルに追加されます。

推奨アクション テーブルのルート数を減らすか、制限を設定し直します。

## 317006

**エラーメッセージ** %ASA-3-317006: Pdb index error *pdb* , *pdb\_index* , *pdb\_type*

説明 PDB に対するインデックスが範囲外です。

- **pdb** : Protocol Descriptor Block (PDB インデックス エラーの記述子)
- **pdb\_index** : PDB インデックス識別子
- **pdb\_type** : PDB インデックス エラーのタイプ

推奨アクション問題が解決しない場合、コンソールまたはシステム ログに表示されるエラーメッセージをそのままコピーし、Cisco TAC にお問い合わせのうえ、TAC の担当者に収集した情報をご提供ください。

## 317007

**エラーメッセージ** %ASA-6-317007: Added *route\_type* route *dest\_address* *netmask* via *gateway\_address* [*distance* /*metric* ] on *interface\_name* *route\_type*

説明新しいルートがルーティングテーブルに追加されました。

ルーティング プロトコルのタイプ :

C : 接続、S : スタティック、I : IGRP、R : RIP、M : モバイル

B : BGP、D : EIGRP、EX : EIGRP 外部、O : OSPF

IA : OSPF 内部エリア、N1 : OSPF NSSA 外部タイプ 1

N2 : OSPF NSSA 外部タイプ 2、E1 : OSPF 外部タイプ 1

E2 : OSPF 外部タイプ 2、E : EGP、i : IS-IS、L1 : IS-IS レベル 1

L2 : IS-IS レベル 2、ia : IS-IS 内部エリア

- **dest\_address** : このルートの宛先ネットワーク
- **netmask** : 宛先ネットワークのネットマスク
- **gateway\_address** : 宛先ネットワークが到達のために使用するゲートウェイのアドレス
- **distance** : このルートのアドミニストレーティブ ディスタンス
- **metric** : このルートのメトリック
- **interface\_name** : トラフィックがルーティングされるネットワーク インターフェイス名

推奨アクション必要なし。

## 317008

**エラーメッセージ** %ASA-6-317008: Deleted *route\_type* route *dest\_address* *netmask* via *gateway\_address* [*distance* /*metric* ] on *interface\_name* *route\_type*



説明新しいルートがルーティング テーブルから削除されました。

ルーティング プロトコルのタイプ :

C : 接続、S : スタティック、I : IGRP、R : RIP、M : モバイル

B : BGP、D : EIGRP、EX : EIGRP 外部、O : OSPF

IA : OSPF 内部エリア、N1 : OSPF NSSA 外部タイプ 1

N2 : OSPF NSSA 外部タイプ 2、E1 : OSPF 外部タイプ 1

E2 : OSPF 外部タイプ 2、E : EGP、i : IS-IS、L1 : IS-IS レベル 1

L2 : IS-IS レベル 2、ia : IS-IS 内部エリア

- *dest\_address* : このルートの宛先ネットワーク
- *netmask* : 宛先ネットワークのネットマスク
- *gateway\_address* : 宛先ネットワークが到達のために使用するゲートウェイのアドレス
- *distance* : このルートのアドミニストレーティブ ディスタンス
- *metric* : このルートのメトリック
- *interface\_name* : トラフィックがルーティングされるネットワーク インターフェイス名

推奨アクション 必要なし。

## 317012

エラーメッセージ %ASA-3-317012: Interface IP route counter negative - nameif-string-value

説明インターフェイス ルートの数が負の値であることを示します。

- nameif-string-value : nameif コマンドで指定したインターフェイス名

推奨アクション 必要なし。

## 318001

エラーメッセージ %ASA-3-318001: Internal error: reason

説明内部ソフトウェア エラーが発生しました。このメッセージは 5 秒ごとに表示されます。

推奨アクション エラー メッセージをそのままコピーし、Cisco TAC に報告してください。

## 318002

エラーメッセージ %ASA-3-318002: Flagged as being an ABR without a backbone area

説明ルータは、ルータにバックボーンエリアが設定されていないエリア境界ルータとしてフラグが立てられました。このメッセージは 5 秒ごとに表示されます。

推奨アクション OSPF プロセスを再起動します。

## 318003

**エラーメッセージ** %ASA-3-318003: Reached unknown state in neighbor state machine

説明内部ソフトウェア エラーが発生しました。このメッセージは 5 秒ごとに表示されます。

推奨アクション エラー メッセージをそのままコピーし、Cisco TAC に報告してください。

## 318004

**エラーメッセージ** %ASA-3-318004: area string lsid IP\_address mask netmask adv IP\_address type number

説明 OSPF プロセスでリンクステートアドバタイズメントの検出に問題が生じました。これはメモリ リークにつながる可能性があります。

推奨アクション問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 318005

**エラーメッセージ** %ASA-3-318005: lsid ip\_address adv IP\_address type number gateway gateway\_address metric number network IP\_address mask netmask protocol hex attr hex net-metric number

説明 OSPF で、そのデータベースと IP ルーティング テーブル間に不整合が検出されました。

推奨アクション問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 318006

**エラーメッセージ** %ASA-3-318006: if interface\_name if\_state number

説明内部エラーが発生しました。

推奨アクション エラー メッセージをそのままコピーし、Cisco TAC に報告してください。

## 318007

**エラーメッセージ** %ASA-3-318007: OSPF is enabled on interface\_name during idb initialization

説明内部エラーが発生しました。

推奨アクション エラー メッセージをそのままコピーし、Cisco TAC に報告してください。

## 318008

**エラーメッセージ** %ASA-3-318008: OSPF process number is changing router-id. Reconfigure virtual link neighbors with our new router-id

説明 OSPF プロセスがリセット中で、新しいルータ ID を選択しようとしています。このアクションによってすべての仮想リンクが停止させられます。

推奨アクションすべての隣接仮想リンクの仮想リンク コンフィギュレーションを、新しいルータ ID を反映するように変更します。

## 318009

**エラーメッセージ** %ASA-3-318009: OSPF: Attempted reference of stale data encountered in *function* , line: *line\_num*

**説明** OSPF が動作中で、他の場所で削除された一部の関連データ構造を参照しようとした。インターフェイスおよびルータのコンフィギュレーションを消去すると、問題が解決する可能性があります。しかし、このメッセージが表示される場合は、シーケンスの一部のステップによってデータ構造の早期削除が生じているので、調査する必要があります。

- *function* : 予期しないイベントを受信した機能
- *line\_num* : コード中の行番号

推奨アクション問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 318101

**エラーメッセージ** %ASA-3-318101: Internal error: REASON

**説明**内部ソフトウェア エラーが発生しました。

- *REASON* : イベントの詳細な原因

推奨アクション必要なし。

## 318102

**エラーメッセージ** %ASA-3-318102: Flagged as being an ABR without a backbone area

**説明**ルータ内のバックボーン領域なしに、ルータが Area Border Router (ABR) としてフラグが設定されました。

推奨アクション OSPF プロセスを再起動します。

## 318103

**エラーメッセージ** %ASA-3-318103: Reached unknown state in neighbor state machine

**説明**内部ソフトウェア エラーが発生しました。

推奨アクション必要なし。

## 318104

**エラーメッセージ** %ASA-3-318104: DB already exist: area *AREA\_ID\_STR* lsid *i* adv *i* type *0x x*

説明 OSPF で LSA を見つけることができないため、メモリのリークが発生する可能性があります。

- *AREA\_ID\_STR* : 領域を表す文字列
- *i* : 整数値
- *x* : 整数値の 16 進表記

推奨アクション必要なし。

## 318105

エラーメッセージ %ASA-3-318105: lsid *i* adv *i* type 0x *x* gateway *i* metric *d* network *i* mask *i* protocol #*x* attr #*x* net-metric *d*

説明 OSPF で、そのデータベースと IP ルーティング テーブル間に不整合が検出されました。

- *i* : 整数値
- *x* : 整数値の 16 進表記
- *d* : 数値

推奨アクション必要なし。

## 318106

エラーメッセージ %ASA-3-318106: if *IF\_NAME* if\_state *d*

説明内部エラーが発生しました。

- *IF\_NAME* : 影響を受けるインターフェイスの名前
- *d* : 数値

推奨アクション必要なし。

## 318107

エラーメッセージ %ASA-3-318107: OSPF is enabled on *IF\_NAME* during idb initialization

説明内部エラーが発生しました。

- *IF\_NAME* : 影響を受けるインターフェイスの名前

推奨アクション必要なし。

## 318108

エラーメッセージ %ASA-3-318108: OSPF process *d* is changing router-id. Reconfigure virtual link neighbors with our new router-id

説明 OSPF プロセスがリセット中で、新しいルータ ID を選択しようとしています。これにより、すべての仮想リンクがダウンします。再び動作させるには、すべての仮想リンク ネイバー上の仮想リンク設定を変更する必要があります。

- *d*: プロセス ID を表す番号

推奨アクションすべての近隣仮想リンクの仮想リンク コンフィギュレーションを、新しいルータ ID を含むように変更します。

## 318109

エラーメッセージ %ASA-3-318109: OSPFv3 has received an unexpected message: 0x / 0x

説明 OSPFv3 が予期しないプロセス間メッセージを受信しました。

- *x*: 整数値の 16 進表記

推奨アクション必要なし。

## 318110

エラーメッセージ %ASA-3-318110: Invalid encrypted key *s* .

説明指定された暗号キーが無効です。

- *s*: 暗号キーを表す文字列

推奨アクションクリア テキストのキーを指定し、**service password-encryption** コマンドを入力して暗号化するか、または指定した暗号キーが有効であることを確認します。指定された暗号キーが無効な場合は、システム設定時にエラー メッセージが表示されます。

## 318111

エラーメッセージ %ASA-3-318111: SPI *u* is already in use with ospf process *d*

説明すでに使用されている SPI を使用しようとしてしました。

- *u*: SPI を表す番号
- *d*: プロセス ID を表す番号

推奨アクション別の SPI を選択します。

## 318112

エラーメッセージ %ASA-3-318112: SPI *u* is already in use by a process other than ospf process *d* .

説明すでに使用されている SPI を使用しようとしてしました。

- *u*: SPI を表す番号
- *d*: プロセス ID を表す番号

推奨アクション別の SPI を選択します。すでに使用されている SPI のリストを表示するには、**show crypto ipv6 ipsec sa** コマンドを入力します。

## 318113

エラーメッセージ %ASA-3-318113: *s s* is already configured with SPI *u* .

説明すでに使用されている SPI を使用しようとした。

- *s* : インターフェイスを表す文字列
- *u* : SPI を表す番号

推奨アクション最初に SPI を設定解除するか、別の SPI を選択します。

## 318114

エラーメッセージ %ASA-3-318114: The key length used with SPI *u* is not valid

説明キーの長さが間違っています。

- *u* : SPI を表す番号

推奨アクション有効な IPsec キーを選択します。IPsec 認証キーは 32 桁 (MD5) または 40 桁 (SHA-1) の 16 進数値である必要があります。

## 318115

エラーメッセージ %ASA-3-318115: *s* error occurred when attempting to create an IPsec policy for SPI *u*

説明 IPsec API (内部) エラーが発生しました。

- *s* : エラーを表す文字列
- *u* : SPI を表す番号

推奨アクション必要なし。

## 318116

エラーメッセージ %ASA-3-318116: SPI *u* is not being used by ospf process *d* .

説明 OSPFv3 で使用されていない SPI を設定解除しようとした。

- *u* : SPI を表す番号
- *d* : プロセス ID を表す番号

推奨アクション OSPFv3 によって使用されている SPIを確認するには、**show** コマンドを入力します。

## 318117

エラーメッセージ %ASA-3-318117: The policy for SPI *u* could not be removed because it is in use.

説明表示された SPI のポリシーを削除しようとしたましたが、そのポリシーがまだセキュア ソケットにより使用されていました。

- *u* : SPI を表す番号

推奨アクション必要なし。

## 318118

エラーメッセージ %ASA-3-318118: *s* error occurred when attempting to remove the IPsec policy with SPI *u*

説明 IPsec API (内部) エラーが発生しました。

- *s* : 指定されたエラーを表す文字列
- *u* : SPI を表す番号

推奨アクション必要なし。

## 318119

エラーメッセージ %ASA-3-318119: Unable to close secure socket with SPI *u* on interface *s*

説明 IPsec API (内部) エラーが発生しました。

- *u* : SPI を表す番号
- *s* : 指定されたインターフェイスを表す文字列

推奨アクション必要なし。

## 318120

エラーメッセージ %ASA-3-318120: OSPFv3 was unable to register with IPsec

説明内部エラーが発生しました。

推奨アクション必要なし。

## 318121

エラーメッセージ %ASA-3-318121: IPsec reported a GENERAL ERROR: message *s* , count *d*

説明内部エラーが発生しました。

- *s* : 指定されたメッセージを表す文字列
- *d* : 生成メッセージの総数を表す数値

推奨アクション必要なし。

## 318122

**エラーメッセージ** %ASA-3-318122: IPsec sent a *s* message *s* to OSPFv3 for interface *s* .  
Recovery attempt *d*

説明内部エラーが発生しました。システムがセキュアなソケットの再オープンと復旧を試みています。

- *s* : 指定されたメッセージと指定されたインターフェイスを表す文字列
- *d* : リカバリ試行回数を表す数値

推奨アクション必要なし。

## 318123

**エラーメッセージ** %ASA-3-318123: IPsec sent a *s* message *s* to OSPFv3 for interface *IF\_NAME* .  
Recovery aborted

説明内部エラーが発生しました。リカバリの試行の最大数を超過しました。

- *s* : 指定されたメッセージを表す文字列
- *IF\_NAME* : 指定されたインターフェイス

推奨アクション必要なし。

## 318125

**エラーメッセージ** %ASA-3-318125: Init failed for interface *IF\_NAME*

説明インターフェイスの初期化に失敗しました。考えられる原因は、次のとおりです。

- インターフェイスの接続先となる領域が削除されています。
- リンク スコープのデータベースを作成できませんでした。
- ローカルルータのネイバー データブロックを作成できませんでした。

推奨アクション インターフェイスを初期設定するコンフィギュレーション コマンドを削除して、再試行します。

## 318126

**エラーメッセージ** %ASA-3-318126: Interface *IF\_NAME* is attached to more than one area

説明インターフェイスが、インターフェイスのリンク先以外の領域のインターフェイスリストに含まれています。

- *IF\_NAME* : 指定されたインターフェイス

推奨アクション必要なし。



## 318127

**エラーメッセージ** %ASA-3-318127: Could not allocate or find the neighbor

**説明** 内部エラーが発生しました。

**推奨アクション** 必要なし。

## 319001

**エラーメッセージ** %ASA-3-319001: Acknowledge for arp update for IP address dest\_address not received (number ).

**説明** ASA 内の ARP プロセスが、ASA のオーバーロードが原因で内部同期外れになっています。

**推奨アクション** 不要。一時的なエラーです。ASA の平均負荷を確認し、許容量を超えて使用されていないことを確認します。

## 319002

**エラーメッセージ** %ASA-3-319002: Acknowledge for route update for IP address dest\_address not received (number ).

**説明** ASA 内のルーティング モジュールが、ASA のオーバーロードが原因で内部同期外れになっています。

**推奨アクション** 不要。一時的なエラーです。ASA の平均負荷を確認し、許容量を超えて使用されていないことを確認します。

## 319003

**エラーメッセージ** %ASA-3-319003: Arp update for IP address address to NPn failed.

**説明** ARP エントリをアップデートする必要がある場合、内部 ARP テーブルをアップデートするためにネットワーク プロセッサ (NP) にメッセージが送信されます。モジュールでメモリ使用率が高くなっている場合、または内部テーブルが満杯になっている場合は、NP へのメッセージが拒否されて、このメッセージが生成される可能性があります。

**推奨アクション** ARP テーブルが満杯であるかどうかを確認します。満杯ではない場合、CPU 使用率および秒あたりの接続数を確認してモジュールの負荷を調べます。CPU 使用率が高いか、秒あたりの接続数が多い場合、負荷が正常に戻ると正常動作が再開されます。

## 319004

**エラーメッセージ** %ASA-3-319004: Route update for IP address dest\_address failed (number ).

**説明** ASA 内のルーティング モジュールが、システムのオーバーロードが原因で内部同期外れになっています。

推奨アクション不要。一時的なエラーです。システムの平均負荷をチェックし、許容量を超えて使用されていないことを確認します。

## メッセージ 320001 ~ 342008

この章では、320001 ~ 342008 のメッセージについて説明します。

### 320001

**エラーメッセージ** %ASA-3-320001: The subject name of the peer cert is not allowed for connection

**説明** ASA が簡単な VPN リモート デバイスまたはサーバである場合、ピア証明書には **ca** **verifycertdn** コマンドの出力と一致しないサブジェクト名が含まれています。中間者攻撃が発生している可能性もあります。これは、デバイスがピア IP アドレスをスプーフィングし、ASA から VPN 接続を代行受信しようとするものです。

推奨アクション必要なし。

### 321001

**エラーメッセージ** %ASA-5-321001: Resource var1 limit of var2 reached.

**説明** 指摘されたリソースの設定使用率またはレート制限に達しました。

推奨アクション必要なし。

### 321002

**エラーメッセージ** %ASA-5-321002: Resource var1 rate limit of var2 reached.

**説明** 指摘されたリソースの設定使用率またはレート制限に達しました。

推奨アクション必要なし。

### 321003

**エラーメッセージ** %ASA-6-321003: Resource var1 log level of var2 reached.

**説明** 指摘されたリソースの設定リソース使用率またはレート ログ レベルに達しました。

推奨アクション必要なし。

### 321004

**エラーメッセージ** %ASA-6-321004: Resource var1 rate log level of var2 reached

**説明** 指摘されたリソースの設定リソース使用率またはレート ログ レベルに達しました。

推奨アクション必要なし。

## 321005

エラーメッセージ %ASA-2-321005: System CPU utilization reached utilization %

説明システムの CPU 使用率が 95% 以上に到達し、5 分間このレベルにとどまっています。

- *utilization %* : 使用されている CPU のパーセンテージ

推奨アクションこのメッセージが定期的に表示される場合は、無視できます。頻繁に繰り返される場合は、**show cpu** コマンドの出力を確認し、CPU 使用率を確認します。これが高い場合は、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 321006

エラーメッセージ %ASA-2-321006: System memory usage reached utilization %

説明システムのメモリ使用率が 80% 以上に到達し、5 分間このレベルにとどまっています。

- *utilization %* : 使用されているメモリのパーセンテージ

推奨アクションこのメッセージが定期的に表示される場合は、無視できます。頻繁に繰り返される場合は、**show memory** コマンドの出力を確認し、メモリ使用率を確認します。これが高い場合は、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 321007

エラーメッセージ %ASA-3-321007: System is low on free memory blocks of size *block\_size* (*free\_blocks* CNT out of *max\_blocks* MAX)

説明システムでメモリの空きブロックが不足しています。ブロックが不足すると、トラフィックの中断が発生する可能性があります。

- *block\_size* : メモリのブロック サイズ (たとえば、4、1550、8192)
- *free\_blocks* : 空きブロック数。**show blocks** コマンドの使用後に CNT カラムに示されます
- *max\_blocks* : システムが割り当てることができるブロックの最大数。**show blocks** コマンドの使用後 MAX カラムに示されます

推奨アクション **show blocks** コマンドを使用して、示されたブロック サイズの出力の CNT カラムで空きブロックの量をモニタします。CNT カラムが長時間にわたってゼロかそれに非常に近いままになる場合、ASA がオーバーロードになっているか、追加調査が必要な別の問題が発生している可能性があります。

## 322001

エラーメッセージ %ASA-3-322001: Deny MAC address *MAC\_address*, possible spoof attempt on interface *interface*

**説明** ASA が、疑わしい MAC アドレスからのパケットを指定のインターフェイス上で受信しましたが、そのパケットの送信元 MAC アドレスは、コンフィギュレーションでは別のインターフェイスにスタティックにバインドされています。MAC スプーフィング攻撃または設定ミスが原因である可能性があります。

**推奨アクション** コンフィギュレーションを調べ、攻撃ホストを突き止めるか、またはコンフィギュレーションを訂正して適切な処置を行います。

## 322002

**エラーメッセージ** %ASA-3-322002: ARP inspection check failed for arp {request|response} received from host MAC\_address on interface interface . This host is advertising MAC Address MAC\_address\_1 for IP Address IP\_address , which is {statically|dynamically} bound to MAC Address MAC\_address\_2 .

**説明** ARP 検査モジュールは、イネーブルになっている場合、パケット内でアドバタイズされる新しい ARP エントリが、静的に設定された IP-MAC アドレスまたは動的に取得された IP-MAC アドレスのバインディングに従っているかどうかをチェックしてから、ASA を介して ARP パケットを転送します。このチェックが失敗した場合、ARP インスペクションモジュールは ARP パケットを廃棄し、このメッセージを生成します。ネットワーク上で ARP スプーフィング攻撃が発生しているか、またはコンフィギュレーション (IP-MAC バインディング) が無効である可能性があります。

**推奨アクション** 原因が攻撃にある場合、ACL を使用してホストを拒否することができます。原因が無効なコンフィギュレーションにある場合、バインディングを修正します。

## 322003

**エラーメッセージ** %ASA-3-322003: ARP inspection check failed for arp {request|response} received from host MAC\_address on interface interface . This host is advertising MAC Address MAC\_address\_1 for IP Address IP\_address , which is not bound to any MAC Address.

**説明** ARP 検査モジュールは、イネーブルになっている場合、パケット内でアドバタイズされる新しい ARP エントリが、静的に設定された IP-MAC アドレスのバインディングに従っているかどうかをチェックしてから、ASA を介して ARP パケットを転送します。このチェックが失敗した場合、ARP インスペクションモジュールは ARP パケットを廃棄し、このメッセージを生成します。ネットワーク上で ARP スプーフィング攻撃が発生しているか、またはコンフィギュレーション (IP-MAC バインディング) が無効である可能性があります。

**推奨アクション** 原因が攻撃にある場合、ACL を使用してホストを拒否することができます。原因が無効なコンフィギュレーションにある場合、バインディングを修正します。

## 322004

**エラーメッセージ** %ASA-6-322004: No management IP address configured for transparent firewall. Dropping protocol protocol packet from interface\_in :source\_address /source\_port to interface\_out :dest\_address /dest\_port

説明管理 IP アドレスがトランスペアレント モードで設定されていないため、ASA がパケットを廃棄しました。

- **protocol** : プロトコルの文字列または値
- **interface\_in** : 入力インターフェイス名
- **source\_address** : パケットの送信元 IP アドレス
- **source\_port** : パケットの送信元ポート
- **interface\_out** : 出力インターフェイス名
- **dest\_address** : パケットの宛先 IP アドレス
- **dest\_port** : パケットの宛先ポート

推奨アクション デバイスに管理 IP アドレスとマスクの値を設定します。

## 323001

**エラーメッセージ** %ASA-3-323001: Module *module\_id* experienced a control channel communications failure.

%ASA-3-323001: Module in slot *slot\_num* experienced a control channel communications failure.

説明 ASA が、制御チャネルを介して、指定されたスロットに設置されているモジュールと通信できません。

- **module\_id** : ソフトウェアサービスのモジュールの場合、サービスモジュールの名前を指定します。
- **slot\_num** : ハードウェアのサービスモジュールの場合、障害が発生したスロットを指定します。スロット 0 はシステムのメインボードを示し、スロット 1 は拡張スロットに設置されているモジュールを示します。

推奨アクション問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 323002

**エラーメッセージ** %ASA-3-323002: Module *module\_id* is not able to shut down, shut down request not answered.

%ASA-3-323002: Module in slot *slot\_num* is not able to shut down, shut down request not answered.

説明設置されているモジュールが、シャットダウン要求に応答しませんでした。

- **module\_id** : ソフトウェアサービスのモジュールの場合、サービスモジュールの名前を指定します。
- **slot\_num** : ハードウェアのサービスモジュールの場合、障害が発生したスロットを指定します。スロット 0 はシステムのメインボードを示し、スロット 1 は拡張スロットに設置されているモジュールを示します。

推奨アクション問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 323003

**エラーメッセージ** %ASA-3-323003: Module *module\_id* is not able to reload, reload request not answered.

%ASA-3-323003: Module in slot *slotnum* is not able to reload, reload request not answered.

説明 設定されているモジュールが、リロード要求に応答しませんでした。

- **module\_id** : ソフトウェアサービスのモジュールの場合、サービスモジュールの名前を指定します。
- **slot\_num** : ハードウェアのサービスモジュールの場合、障害が発生したスロットを指定します。スロット 0 はシステムのメインボードを示し、スロット 1 は拡張スロットに設置されているモジュールを示します。

推奨アクション 問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 323004

**エラーメッセージ** %ASA-3-323004: Module *string one* failed to write software *newver* (currently *ver* ), *reason* . Hw-module reset is required before further use.

説明 モジュールがソフトウェアバージョンに対応できませんでした。UNRESPONSIVE 状態に移行します。モジュールは、ソフトウェアがアップデートされるまで使用できません。

- **string one** : モジュールを示すテキスト文字列
- **>newver** : モジュールへの書き込みが正常に終了しなかったソフトウェアの新しいバージョン番号 (1.0(1)0 など)
- **>ver** : モジュール上のソフトウェアの現在のバージョン番号 (1.0(1)0 など)
- **>reason** : 新しいバージョンがモジュールに書き込みできなかった原因。>*reason* に考えられる値は、次のとおりです。

- write failure

- failed to create a thread to write the image

推奨アクション モジュール ソフトウェアは、アップデートできない場合、使用できなくなります。問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 323005

**エラーメッセージ** %ASA-3-323005: Module *module\_id* can not be started completely

%ASA-3-323005: Module in slot *slot\_num* cannot be started completely

説明 このメッセージは、モジュールが完全に起動できないことを示します。モジュールは、この状態が修正されるまで、UNRESPONSIVE 状態のままになります。最も可能性が高い原因として、モジュールがスロットに正しく取り付けられていないことが考えられます。

- **module\_id** : ソフトウェアサービスのモジュールの場合、サービスモジュールの名前を指定します。

- **slot\_num** : ハードウェアのサービス モジュールの場合、モジュールが装着されているスロット番号を指定します。

**推奨アクション** モジュールが正しく取り付けられていることを確認し、モジュールのステータス LED が点灯しているかどうかをチェックします。モジュールを正しく取り付け直した後、モジュールが電源投入されたことを ASA が認識するまで数分かかることがあります。モジュールが取り付けられていることを確認し、**sw-module module service-module-name reset** コマンドまたは **hw-module module slotnum reset** コマンドを使用してモジュールをリセットした後もこのメッセージが表示される場合は、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 323006

**エラーメッセージ** %ASA-1-323006: Module *ips* experienced a data channel communication failure, data channel is DOWN.

**説明** データ チャネル通信障害が発生し、ASA がサービス モジュールにトラフィックを転送できませんでした。この障害が HA コンフィギュレーションのアクティブ ASA で発生した場合は、フェールオーバーがトリガーされます。また、この障害によって、通常はサービス モジュールに送信されるトラフィックに、設定済みのフェールオープンポリシーまたはフェールクロуз ポリシーが適用されます。このメッセージは、システム モジュールとサービス モジュールの間で ASA のデータプレーンを介した通信上の問題が発生すると必ず生成されます。このような問題は、サービス モジュールが停止、リセット、取り外し、またはディセーブルにされた場合に発生する可能性があります。

**推奨アクション** IPS などのソフトウェア サービスモジュールの場合、**sw-module module ips recover** コマンドを使用してモジュールを回復します。ハードウェア サービス モジュールの場合、このメッセージが SSM のリロードまたはリセットの結果として生成されたのではなく、SSM が UP 状態に戻った後に、対応する syslog メッセージ 505010 が表示されない場合は、**hw-module module 1 reset** コマンドを使用してモジュールをリセットします。

## 323007

**エラーメッセージ** %ASA-3-323007: Module in slot *slot* experienced a firware failure and the recovery is in progress.

**説明** 4GE-SSM が装着された ASA で、短い電力サージが発生し、その後リブートされました。その結果、4GE-SSM は、無応答状態でオンラインになっている可能性があります。ASA は、4GE-SSM が無応答であることを検出し、自動的に 4GE-SSM を再起動します。

**推奨アクション** 必要なし。

## 324000

**エラーメッセージ** %ASA-3-324000: Drop GTPv *version* message *msg\_type* from *source\_interface*:*source\_address* /*source\_port* to *dest\_interface*:*dest\_address*/*dest\_port* Reason: *reason*

**説明** 処理中のパケットが、**reason** 変数に記述されているフィルタリング要件を満たしていないため、廃棄されました。

推奨アクション 不要。

## 324001

**エラーメッセージ** %ASA-3-324001: GTPv0 packet parsing error from source\_interface :source\_address /source\_port to dest\_interface :dest\_address /dest\_port , TID: tid\_value , Reason: reason

**説明** パケットの処理にエラーがありました。考えられる原因は次のとおりです。

- 必須 IE の不足
- 必須の IE の不正
- IE の順序の誤り
- 無効なメッセージフォーマット
- オプションの IE の不正
- 無効な TEID
- 不明な IE
- 不正な長さのフィールド
- 不明な GTP メッセージ
- 短すぎるメッセージ
- 予期しないメッセージの表示
- マル TID
- サポートされていないバージョン

**推奨アクション** このメッセージが定期的に表示される場合は、無視できます。このメッセージが頻繁に表示される場合は、エンドポイントが攻撃の一部として不良パケットを送信している可能性があります。

## 324002

**エラーメッセージ** %ASA-3-324002: No PDP[MCB] exists to process GTPv0 msg\_type from source\_interface :source\_address /source\_port to dest\_interface :dest\_address /dest\_port , TID: tid\_value

**説明** このメッセージが 321100（メモリ割り当てのエラー）の後に表示される場合、メッセージは PDP コンテキストを作成するのに十分なリソースがなかったことを示します。それ以外の場合、メッセージ 321100 がこの前に表示されることはありません。バージョン 0 では、対応する PDP コンテキストが見つからないことを示します。バージョン 1 では、メッセージ 324001 の後にこのメッセージが表示された場合、パケット処理エラーが発生して動作が停止しました。

**推奨アクション** 問題が解決しない場合は、送信元が有効な PDP コンテキストなしにパケットを送信している理由を特定します。



## 324003

**エラー メッセージ** %ASA-3-324003: No matching request to process GTPv version *msg\_type* from *source\_interface:source\_address/source\_port* to *source\_interface:dest\_address/dest\_port*

**説明** 受信した応答は、要求キューと一致する要求が含まれていないため、それ以上処理されません。

**推奨アクション** このメッセージが定期的に表示される場合は、無視できます。しかし、このメッセージが頻繁に表示される場合は、エンドポイントが攻撃の一部として不良パケットを送信している可能性があります。

## 324004

**エラー メッセージ** %ASA-3-324004: GTP packet with version%d from *source\_interface:source\_address /source\_port* to *dest\_interface :dest\_address /dest\_port* is not supported

**説明** 処理中のパケットが、現在サポートされているバージョン 0 またはバージョン 1 以外のバージョンになっています。プリントアウトされているバージョン番号が誤った番号であり、頻繁に表示される場合は、エンドポイントが攻撃の一部として不良パケットを送信している可能性があります。

**推奨アクション** 不要。

## 324005

**エラーメッセージ** %ASA-3-324005: Unable to create tunnel from *source\_interface:source\_address /source\_port* to *dest\_interface :dest\_address /dest\_port*

**説明** 転送プロトコルデータユニットのトンネルを作成しようとしてエラーが発生しました。

**推奨アクション** このメッセージが定期的に表示される場合は、無視できます。頻繁に繰り返される場合は、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 324006

**エラー メッセージ** %ASA-3-324006:GSN *IP\_address* tunnel limit *tunnel\_limit* exceeded, PDP Context TID *tid* failed

**説明** 要求を送信している GPRS サポート ノードが、作成できる最大許容トンネル数を超えたため、トンネルが作成されません。

**推奨アクション** トンネル制限を増やす必要があるかどうか、またはネットワークへの攻撃の可能性があるかどうかを確認します。

## 324007

**エラー メッセージ** %ASA-3-324007: Unable to create GTP connection for response from *source\_address /0* to *dest\_address /dest\_port*

**説明** 異なるサービス GPRS サポート ノードまたはゲートウェイ GPRS サポート ノードの転送プロトコルデータユニット用のトンネルを作成しようとしてエラーが発生しました。

**推奨アクション** デバッグ メッセージを調べて、接続が正しく作成されなかった理由を確認します。問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 324008

**エラーメッセージ** %ASA-3-324008: No PDP exists to update the data sgsn [ggsn] PDPMCB Info REID: teid\_value , Request TEID; teid\_value , Local GSN: IPaddress (VPIfNum ), Remove GSN: IPaddress (VPIfNum )

**説明** データ sgsn/ggsn PDPMCB 情報で PDP を更新するために GTP HA メッセージをスタンバイ装置で受信したところ、以前の PDP 更新メッセージがスタンバイ装置に正しく配信されていないか、または正常に処理されなかったため、PDP が見つかりません。

**推奨アクション** このメッセージが定期的に表示される場合は、無視できます。頻繁に発生する場合は、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 324010

**エラーメッセージ** %ASA-5-324010: Subscriber IMSI PDP Context activated on network MCC/MNC mccmnc (IE type[/IE type]) [CellID cellID]

### 説明

このメッセージは、PDP コンテキストがアクティブ化されると表示されます。MCC は常に 3 桁で、MNC は 2 桁または 3 桁です。



(注) パケットに位置情報 IE が含まれていない場合、MCC、MNC、IE タイプ、またはセル ID が「不明」になる可能性があります。

### 例:

```
%ASA-5-324010: Subscriber ID PDP Context activated on network MCC/MNC 11122 (v1 RAI/v1 ULI) CellID 1
```

```
%ASA-5-324010: Subscriber ID PDP Context activated on network Unknown
```

**推奨アクション** なし

## 324011

**エラーメッセージ** %ASA-5-324011: Subscriber IMSI location changed during handoff from MCC/MNC mccmnc (IE type[/IE type]) [CellID cellID] to MCC/MNC mccmnc (IE type[/IE type]) [CellID cellID]

### 説明

ロケーションが変更されると、メッセージが表示されます。MCCは常に3桁で、MNCは2桁または3桁です。この変更は、PDPが作成された後のハンドオフまたは後続の作成要求によってトリガーされ、ASAでの以前の作成要求が期限切れになった可能性があります。



(注) パケットにロケーション情報が含まれていない場合、MCC、MNC、IEタイプ、またはセルIDを「不明」にすることができます。

例:

```
%ASA-5-324011: Subscriber ID location changed during v1 handoff from MCC/MNC 11122 (v1 RAI/v1 ULI-CGI) CellID 1 to MCC/MNC 111222 (v1 RAI/v1 ULI-CGI) CellID 2
%ASA-5-324011: Subscriber ID location changed during v1 handoff from MCC/MNC 11122 (v2 ULI) CellID 1 to Unknown
%ASA-5-324011: Subscriber ID location changed during v1 handoff from Unknown to MCC/MNC 11122 (v1 RAI) CellID 1
```

推奨アクション なし

## 324300

**エラーメッセージ** %ASA-3-324300: Radius Accounting Request from *from\_addr* has an incorrect request authenticator

**説明** ホストに共有秘密が設定されている場合は、その秘密によって要求オーセンティケータが検証されます。検証に失敗すると、ログに記録され、パケット処理が停止します。

- *from\_addr* : RADIUS アカウンティング要求を送信しているホストの IP アドレス

**推奨アクション** 正しい共有秘密が設定されていることを確認します。正しい共有秘密が設定されている場合は、パケットの送信元を入念にチェックし、スプーフィングされていないかを確認します。

## 324301

**エラーメッセージ** %ASA-3-324301: Radius Accounting Request has a bad header length *hdr\_len*, packet length *pkt\_len*

**説明** アカウンティング要求メッセージのヘッダーに示されているパケット長が実際のパケット長と異なるため、パケット処理が停止します。

- *hdr\_len* : 要求のヘッダーに示されているパケット長
- *pkt\_len* : 実際のパケット長

**推奨アクション** パケットがスプーフィングされていないかを確認します。パケットが正当である場合は、パケットを取り込み、メッセージで指摘されているように、ヘッダー長が誤っていることを確認します。ヘッダー長が正しく、問題が解決しない場合は、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 325001

**エラーメッセージ** %ASA-3-325001: Router *ipv6\_address* on *interface* has conflicting ND (Neighbor Discovery) settings

**説明** リンク上の別のルータが、矛盾するパラメータを持つルータアドバタイズメントを送信しました。

- **ipv6\_address** : 相手側ルータの IPv6 アドレス
- **interface** : 相手側ルータとのリンクのインターフェイス名

**推奨アクション** リンク上の IPv6 ルータがすべて、**hop\_limit**、**managed\_config\_flag**、**other\_config\_flag**、**reachable\_time**、および **ns\_interval** についてルータアドバタイズメントに同じパラメータを持つことを確認し、複数のルータによってアドバタイズされる、同じプレフィックスの優先される有効なライフタイムが同じであることを確認します。インターフェイスごとにパラメータを示すには、**show ipv6 interface** コマンドを入力します。

## 325002

**エラーメッセージ** %ASA-4-325002: Duplicate address *ipv6\_address/MAC\_address* on *interface*

**説明** 別のシステムが IPv6 アドレスを使用しています。

- **ipv6\_address** : 相手側ルータの IPv6 アドレス
- **MAC\_address** : 既知の場合は相手側システムの MAC アドレス、それ以外の場合は **unknown**
- **interface** : 相手側システムとのリンクのインターフェイス名

**推奨アクション** 2つのシステムのうちの1つの IPv6 アドレスを変更します。

## 325004

**エラーメッセージ** %ASA-4-325004: IPv6 Extension Header *hdr\_type* action configuration. *protocol* from *src\_int* :*src\_ipv6\_addr* /*src\_port* to *dst\_interface* : *dst\_ipv6\_addr* /*dst\_port* .

**説明** ユーザが指定した IPv6 ヘッダー拡張に対して1つまたは複数のアクションを設定しました。

- **hdr\_type** : 次のいずれかの値になります。

**ah** : AH 拡張ヘッダーに対してアクションを設定しました

**count** : 拡張ヘッダー数に対してアクションを設定しました

**destination-option** : 宛先オプションの拡張ヘッダーに対してアクションを設定しました

**esp** : ESP 拡張ヘッダーに対してアクションを設定しました

**fragment** : フラグメント拡張ヘッダーに対してアクションを設定しました

**hop-by-hop** : ホップバイホップ拡張ヘッダーに対してアクションを設定しました

routing-address count : ルーティング拡張ヘッダーのアドレス数に対してアクションを設定しました

routing-type : ルーティング タイプ拡張ヘッダーに対してアクションを設定しました

- *action* : 次のいずれかの値になります。

denied : パケットは拒否されます。

denied/logged : パケットは拒否され、記録されます。

logged : パケットは記録されます。

**推奨アクション** 設定されたアクションが期待されない場合、**policy-map** コマンドの下で、**match header extension\_header\_type** コマンドと **parameters** コマンドを確認し、正しい変更を加えます。次に例を示します。

```
ciscoasa (config)# policy-map type inspect ipv6 pname
ciscoasa (config-pmap)# parameters
ciscoasa (config-pmap-p)# no match header extension_header_type
! to remove the configuration
ciscoasa (config-pmap-p)# no drop ! so packets with the specified extension_header_type
are not dropped
ciscoasa (config-pmap-p)# no log ! so packets with the specified extension_header_type
are not logged
ciscoasa (config-pmap-p)# no drop log ! so packets with the specified extension_header_type
are not dropped or logged
```

## 325005

**エラーメッセージ** %ASA-4-325005: Invalid IPv6 Extension Header Content: *string* . detail regarding protocol, ingress and egress interface

**説明** 不正な拡張ヘッダーを持つ IPv6 パケットが検出されました。

- *string* : 次のいずれかの値になります。

- wrong extension header order

- duplicate extension header

- routing extension header

**推奨アクション** ドロップされたパケットを記録するために **capture** コマンドを設定してから、パケットがドロップされる原因を解析します。IPv6 拡張ヘッダーの有効性チェックを無視できる場合には、次のコマンドを入力して、IPv6 ポリシーマップの有効性チェックをディセーブルにします。

```
ciscoasa (config)# policy-map type inspect ipv6 policy_name
ciscoasa (config-pmap)# parameters
ciscoasa (config-pmap-p)# no verify-header type
```

## 325006

**エラーメッセージ** %ASA-4-325006: IPv6 Extension Header not in order: Type *hdr\_type* occurs after Type *hdr\_type* TCP prot from inside *src\_int* : *src\_ipv6\_addr* /*src\_port* to *dst\_interface* :*dst\_ipv6\_addr* /*dst\_port*

**説明** 順序が不正な拡張ヘッダーを持つ IPv6 パケットが検出されました。

**推奨アクション** ドロップされたパケットを記録するために **capture** コマンドを設定してから、ドロップされたパケットの拡張ヘッダーの順序を解析します。順序が不正なヘッダー拡張が許可されている場合、次のコマンドを入力して、IPv6 タイプ ポリシー マップで正しくない順序のチェックをディセーブルにします。

```
ciscoasa (config)# policy-map type inspect ipv6 policy_name
ciscoasa (config-pmap)# parameters
ciscoasa (config-pmap-p)# no verify-header order
```

## 326001

**エラーメッセージ** %ASA-3-326001: Unexpected error in the timer library: *error\_message*

**説明** 管理対象タイマーイベントが、コンテキストも正しいタイプもなしで受信されたか、あるいはハンドラがありません。または、キューに入るイベントの数がシステム制限を超えると、後で処理が試行されます。

**推奨アクション** 問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 326002

**エラーメッセージ** %ASA-3-326002: Error in *error\_message* : *error\_message*

**説明** IGMP プロセスが要求に応じてシャットダウンできませんでした。このシャットダウンに備えて実行されるイベントが同期していない可能性があります。

**推奨アクション** 問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 326004

**エラーメッセージ** %ASA-3-326004: An internal error occurred while processing a packet queue

**説明** IGMP パケット キューがパケットを持たない信号を受信しました。

**推奨アクション** 問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 326005

**エラーメッセージ** %ASA-3-326005: Mrib notification failed for (*IP\_address*, *IP\_address*)

説明データ駆動型イベントをトリガーするパケットが受信され、MRIB を通知する試行が失敗しました。

推奨アクション問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 326006

エラーメッセージ %ASA-3-326006: Entry-creation failed for (IP\_address, IP\_address )

説明 MFIB は MRIB からエントリのアップデートを受信しましたが、表示されるアドレスに関連するエントリを作成できませんでした。メモリ不足が原因として考えられます。

推奨アクション問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 326007

エラーメッセージ %ASA-3-326007: Entry-update failed for (IP\_address, IP\_address )

説明 MFIB が MRIB からインターフェイスのアップデートを受信しましたが、表示されるアドレスに関連するインターフェイスを作成できませんでした。メモリ不足が原因として考えられます。

推奨アクション問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 326008

エラーメッセージ %ASA-3-326008: MRIB registration failed

説明 MFIB が MRIB に登録できませんでした。

推奨アクション問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 326009

エラーメッセージ %ASA-3-326009: MRIB connection-open failed

説明 MFIB が MRIB への接続を開けませんでした。

推奨アクション問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 326010

エラーメッセージ %ASA-3-326010: MRIB unbind failed

説明 MFIB が MRIB からアンバインドできませんでした。

推奨アクション問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 326011

**エラーメッセージ** %ASA-3-326011: MRIB table deletion failed

**説明** MFIB が削除されるはずだったテーブルを取得できませんでした。

**推奨アクション**問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 326012

**エラーメッセージ** %ASA-3-326012: Initialization of *string* functionality failed

**説明**指摘された機能の初期化が失敗しました。このコンポーネントは引き続き、機能なしでも動作する可能性があります。

**推奨アクション**問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 326013

**エラーメッセージ** %ASA-3-326013: Internal error: *string* in *string* line %d (%s )

**説明** MRIB で基本エラーが発生しました。

**推奨アクション**問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 326014

**エラーメッセージ** %ASA-3-326014: Initialization failed: *error\_message* *error\_message*

**説明** MRIB が初期化できませんでした。

**推奨アクション**問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 326015

**エラーメッセージ** %ASA-3-326015: Communication error: *error\_message* **error\_message**

**説明** MRIB が形式が誤っているアップデートを受信しました。

**推奨アクション**問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 326016

**エラーメッセージ** %ASA-3-326016: Failed to set un-numbered interface for *interface\_name* (*string* )

**説明** PIM トンネルが送信元アドレスがないため使用できません。この状況は、番号付きインターフェイスが見つからないため、または内部エラーが原因で発生します。

**推奨アクション**問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。



## 326017

エラーメッセージ %ASA-3-326017: Interface Manager error - *string* in *string* : *string*

説明 PIM トンネル インターフェイスを作成中に、エラーが発生しました。

推奨アクション問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 326019

エラーメッセージ %ASA-3-326019: *string* in *string* : *string*

説明 PIM RP トンネル インターフェイスを作成中に、エラーが発生しました。

推奨アクション問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 326020

エラーメッセージ %ASA-3-326020: List error in *string* : *string*

説明 PIM インターフェイス リストを処理中に、エラーが発生しました。

推奨アクション問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 326021

エラーメッセージ %ASA-3-326021: Error in *string* : *string*

説明 PIM トンネル インターフェイスの SRC を設定中に、エラーが発生しました。

推奨アクション問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 326022

エラーメッセージ %ASA-3-326022: Error in *string* : *string*

説明 PIM プロセスが要求に応じてシャットダウンできませんでした。このシャットダウンに備えて実行されるイベントが同期していない可能性があります。

推奨アクション問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 326023

エラーメッセージ %ASA-3-326023: *string* - *IP\_address* : *string*

説明 PIM グループ範囲を処理中に、エラーが発生しました。

推奨アクション問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 326024

**エラーメッセージ** %ASA-3-326024: An internal error occurred while processing a packet queue.

**説明** PIM パケット キューがパケットを持たない信号を受信しました。

**推奨アクション**問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 326025

**エラーメッセージ** %ASA-3-326025: *string*

**説明**メッセージ送信の試行中に、内部エラーが発生しました。PIM トンネル IDB の削除など、メッセージの受信時に発生するようスケジュールされたイベントが発生しない可能性があります。

**推奨アクション**問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 326026

**エラーメッセージ** %ASA-3-326026: Server unexpected error: *error\_message*

**説明** MRIB がクライアントを登録できませんでした。

**推奨アクション**問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 326027

**エラーメッセージ** %ASA-3-326027: Corrupted update: *error\_message*

**説明** MRIB が破損したアップデートを受信しました。

**推奨アクション**問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 326028

**エラーメッセージ** %ASA-3-326028: Asynchronous error: *error\_message*

**説明** MRIB API で未処理の非同期エラーが発生しました。

**推奨アクション**問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 327001

**エラーメッセージ** %ASA-3-327001: IP SLA Monitor: Cannot create a new process

**説明** IP SLA モニタが新しいプロセスを開始できませんでした。

**推奨アクション** システム メモリを確認します。メモリが不足している場合は、それが原因である可能性があります。メモリが利用可能になったときに、コマンドを再入力してみます。問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 327002

**エラーメッセージ** %ASA-3-327002: IP SLA Monitor: Failed to initialize, IP SLA Monitor functionality will not work

**説明** IP SLA モニタが初期化に失敗しました。この状態は、タイマー ホイール機能が初期化に失敗した場合、またはプロセスが作成されなかった場合に発生します。タスクを完了するために利用できるメモリが十分でない可能性があります。

**推奨アクション** システム メモリを確認します。メモリが不足している場合は、それが原因である可能性があります。メモリが利用可能になったときに、コマンドを再入力してみます。問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 327003

**エラーメッセージ** %ASA-3-327003: IP SLA Monitor: Generic Timer wheel timer functionality failed to initialize

**説明** IP SLA モニタがタイマー ホイールを初期化できません。

**推奨アクション** システム メモリを確認します。メモリが不足している場合は、そのためにタイマーホイール機能が初期化されませんでした。メモリが利用可能になったときに、コマンドを再入力してみます。問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 328001

**エラーメッセージ** %ASA-3-328001: Attempt made to overwrite a set stub function in string .

**説明** レジストリ チェック付きスタブが起動されたときのコールバックとして、1つの機能を設定できます。コールバック機能がすでに設定されていたため、新しいコールバックの設定試行が失敗しました。

- **string** : 機能の名前

**推奨アクション** 問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 328002

**エラーメッセージ** %ASA-3-328002: Attempt made in string to register with out of bounds key

**説明** FASTCASE レジストリでは、レジストリが作成されたときに指定されたサイズよりもキーが小さくなければなりません。境界外のキーを使用して登録が試行されました。

**推奨アクション** エラー メッセージをそのままコピーし、Cisco TAC に報告してください。

## 329001

**エラーメッセージ** %ASA-3-329001: The *string0* subblock named *string1* was not removed

**説明** ソフトウェアのエラーが発生しました。IDB サブブロックを削除できません。

- *string0* : SWIDB または HWIDB
- *string1* : サブブロックの名前

**推奨アクション** 問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 331001

**エラーメッセージ** %ASA-3-331001: Dynamic DNS Update for '*fqdn\_name*' = *ip\_address* failed

**説明** ダイナミック DNS サブシステムが DNS サーバ上のリソースレコードをアップデートできませんでした。この障害は、ASA が DNS サーバにアクセスできない場合、または対象のシステム上で DNS サービスが動作していない場合に発生する可能性があります。

- *fqdn\_name* : DNS アップデートが試行された完全修飾ドメイン名
- *ip\_address* : DNS アップデートの IP アドレス

**推奨アクション** DNS サーバが設定されており、ASA から到達可能であることを確認します。問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 331002

**エラーメッセージ** %ASA-5-331002: Dynamic DNS *type* RR for ('*fqdn\_name*' - *ip\_address* | *ip\_address* - '*fqdn\_name*') successfully updated in DNS server *dns\_server\_ip*

**説明** DNS サーバでダイナミック DNS アップデートが成功しました。

- *type* : リソースレコードのタイプ (A または PTR)
- *fqdn\_name* : DNS アップデートが試行された完全修飾ドメイン名
- *ip\_address* : DNS アップデートの IP アドレス
- *dns\_server\_ip* : DNS サーバの IP アドレス

**推奨アクション** 必要なし。

## 332001

**エラーメッセージ** %ASA-3-332001: Unable to open cache discovery socket, WCCP V2 closing down.

**説明** 内部エラーです。WCCP プロセスが、キャッシュからのプロトコルメッセージのリッスンに使用される UDP ソケットを開くことができなかったことを示しています。

**推奨アクション** IP コンフィギュレーションが正しいこと、および少なくとも 1 つの IP アドレスが設定されていることを確認します。

## 332002

**エラーメッセージ** %ASA-3-332002: Unable to allocate message buffer, WCCP V2 closing down.

**説明** 内部エラーです。WCCP プロセスが、着信プロトコルメッセージを保持するためのメモリを割り当てることができなかったことを示しています。

**推奨アクション** すべてのプロセスに利用可能な十分なメモリがあることを確認します。

## 332003

**エラーメッセージ** %ASA-5-332003: Web Cache *IP\_address* /*service\_ID* acquired

**説明** ASA の Web キャッシュからのサービスが取得されました。

- **IP\_address** : Web キャッシュの IP アドレス
- **service\_ID** : WCCP サービス識別子

**推奨アクション** 必要なし。

## 332004

**エラーメッセージ** %ASA-1-332004: Web Cache *IP\_address* /*service\_ID* lost

**説明** ASA の Web キャッシュからのサービスが失われました。

- **IP\_address** : Web キャッシュの IP アドレス
- **service\_ID** : WCCP サービス識別子

**推奨アクション** 指摘された Web キャッシュの動作を確認します。

## 333001

**エラーメッセージ** %ASA-6-333001: EAP association initiated - context: *EAP-context*

**説明** リモート ホストとの EAP アソシエーションが開始されました。

- **EAP-context** : EAP セッションの一意の識別子。8 桁の 16 進数として表示されます (たとえば、0x2D890AE0)

**推奨アクション** 必要なし。

## 333002

**エラーメッセージ** %ASA-5-333002: Timeout waiting for EAP response - context:*EAP-context*

**説明** EAP 応答を待っている間にタイムアウトが発生しました。

- **EAP-context** : EAP セッションの一意の識別子。8 桁の 16 進数として表示されます (たとえば、0x2D890AE0)

**推奨アクション** 必要なし。

## 333003

**エラーメッセージ** %ASA-6-333003: EAP association terminated - context:EAP-context

説明 リモート ホストとの EAP アソシエーションが終了しました。

- *EAP-context* : EAP セッションの一意の識別子。8 桁の 16 進数として表示されます (たとえば、0x2D890AE0)

推奨アクション 必要なし。

## 333004

**エラーメッセージ** %ASA-7-333004: EAP-SQ response invalid - context:EAP-context

説明 EAP ステータス クエリーの応答が、基本的なパケット検証に失敗しました。

- *EAP-context* : EAP セッションの一意の識別子。8 桁の 16 進数として表示されます (たとえば、0x2D890AE0)

推奨アクション 問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 333005

**エラーメッセージ** %ASA-7-333005: EAP-SQ response contains invalid TLV(s) - context:EAP-context

説明 EAP ステータス クエリーの応答に、1 つまたは複数の無効な TLV が含まれています。

- *EAP-context* : EAP セッションの一意の識別子。8 桁の 16 進数として表示されます (たとえば、0x2D890AE0)

推奨アクション 問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 333006

**エラーメッセージ** %ASA-7-333006: EAP-SQ response with missing TLV(s) - context:EAP-context

説明 EAP ステータス クエリーの応答に、1 つまたは複数の必須 TLV がありません。

- *EAP-context* : EAP セッションの一意の識別子。8 桁の 16 進数として表示されます (たとえば、0x2D890AE0)

推奨アクション 問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 333007

**エラーメッセージ** %ASA-7-333007: EAP-SQ response TLV has invalid length - context:EAP-context

説明 EAP ステータス クエリーの応答に、無効な長さの TLV が含まれています。

- *EAP-context* : EAP セッションの一意の識別子。8 桁の 16 進数として表示されます (たとえば、0x2D890AE0)

推奨アクション問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 333008

**エラーメッセージ** %ASA-7-333008: EAP-SQ response has invalid nonce TLV - context:*EAP-context*

**説明** EAP ステータス クエリーの応答に、無効なナンズ TLV が含まれています。

- *EAP-context* : EAP セッションの一意の識別子。8 桁の 16 進数として表示されます (たとえば、0x2D890AE0)

推奨アクション問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 333009

**エラーメッセージ** %ASA-6-333009: EAP-SQ response MAC TLV is invalid - context:*EAP-context*

**説明** EAP ステータス クエリーの応答に、計算された MAC と一致しない MAC が含まれています。

- *EAP-context* : EAP セッションの一意の識別子。8 桁の 16 進数として表示されます (たとえば、0x2D890AE0)

推奨アクション問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 333010

**エラーメッセージ** %ASA-5-333010: EAP-SQ response Validation Flags TLV indicates PV request - context:*EAP-context*

**説明** EAP ステータス クエリーの応答に、ピアが完全なポストチャ検証を要求したことを示す検証フラグ TLV が含まれています。

推奨アクション必要なし。

## 334001

**エラーメッセージ** %ASA-6-334001: EAPoUDP association initiated - host-address

**説明** リモート ホストとの EAPoUDP アソシエーションが開始されました。

- *host-address* : ホストの IP アドレス。ドット付き 10 進表記で示されます (たとえば、10.86.7.101)

推奨アクション必要なし。

## 334002

**エラーメッセージ** %ASA-5-334002: EAPoUDP association successfully established - *host-address*

**説明** ホストとの EAPoUDP アソシエーションが正常に確立されました。

- *host-address* : ホストの IP アドレス。ドット付き 10 進表記で示されます (たとえば、10.86.7.101)

**推奨アクション** 必要なし。

## 334003

**エラーメッセージ** %ASA-5-334003: EAPoUDP association failed to establish - *host-address*

**説明** ホストとの EAPoUDP アソシエーションを確立できませんでした。

- *host-address* : ホストの IP アドレス。ドット付き 10 進表記で示されます (たとえば、10.86.7.101)

**推奨アクション** Cisco Secure Access Control Server の設定を確認します。

## 334004

**エラーメッセージ** %ASA-6-334004: Authentication request for NAC Clientless host - *host-address*

**説明** NAC クライアントレス ホストの認証要求が行われました。

- *host-address* : ホストの IP アドレス。ドット付き 10 進表記で示されます (たとえば、10.86.7.101)

**推奨アクション** 必要なし。

## 334005

**エラーメッセージ** %ASA-5-334005: Host put into NAC Hold state - *host-address*

**説明** ホストの NAC セッションが Hold 状態になりました。

- *host-address* : ホストの IP アドレス。ドット付き 10 進表記で示されます (たとえば、10.86.7.101)

**推奨アクション** 必要なし。

## 334006

**エラーメッセージ** %ASA-5-334006: EAPoUDP failed to get a response from host - *host-address*

**説明** ホストから EAPoUDP 応答を受信しませんでした。



- *host-address* : ホストの IP アドレス。ドット付き 10 進表記で示されます (たとえば、10.86.7.101)

推奨アクション 必要なし。

## 334007

**エラーメッセージ** %ASA-6-334007: EAPoUDP association terminated - *host-address*

**説明** ホストとの EAPoUDP アソシエーションが終了しました。

- *host-address* : ホストの IP アドレス。ドット付き 10 進表記で示されます (たとえば、10.86.7.101)

推奨アクション 必要なし。

## 334008

**エラーメッセージ** %ASA-6-334008: NAC EAP association initiated - *host-address* , EAP context: *EAP-context*

**説明** EAPoUDP がホストとの EAP を開始しました。

- *host-address* : ホストの IP アドレス。ドット付き 10 進表記で示されます (たとえば、10.86.7.101)
- *EAP-context* : EAP セッションの一意の識別子。8 桁の 16 進数として表示されます (たとえば、0x2D890AE0)

推奨アクション 必要なし。

## 334009

**エラーメッセージ** %ASA-6-334009: Audit request for NAC Clientless host - *Assigned\_IP*.

**説明** 指摘された割り当て済み IP アドレスの監査要求が送信されています。

- *Assigned\_IP* : クライアントに割り当てられている IP アドレス

推奨アクション 必要なし。

## 335001

**エラーメッセージ** %ASA-6-335001: NAC session initialized - *host-address*

**説明** リモートホストの NAC セッションが開始されました。

- *host-address* : ホストの IP アドレス。ドット付き 10 進表記で示されます (たとえば、10.86.7.101)。

推奨アクション 不要。

## 335002

**エラーメッセージ** %ASA-5-335002: Host is on the NAC Exception List - *host-address* , OS: *oper-sys*

**説明** クライアントが NAC 例外リストに入っているため、ポスチャ検証の対象になりません。

- *host-address* : ホストの IP アドレス。ドット付き 10 進表記で示されます (たとえば、10.1.1.1)。
- *oper-sys* : ホストのオペレーティング システム (たとえば、Windows XP)。

**推奨アクション** 不要。

## 335003

**エラーメッセージ** %ASA-5-335003: NAC Default ACL applied, ACL:*ACL-name* - *host-address*

**説明** クライアントに NAC デフォルト ACL が適用されました。

- *ACL-name* : 適用する ACL の名前。
- *host-address* : ホストの IP アドレス。ドット付き 10 進表記で示されます (たとえば、10.1.1.1)。

**推奨アクション** 不要。

## 335004

**エラーメッセージ** %ASA-6-335004: NAC is disabled for host - *host-address*

**説明** リモート ホストに対して NAC がディセーブルになっています。

- *host-address* : ホストの IP アドレス。ドット付き 10 進表記で示されます (たとえば、10.1.1.1)。

**推奨アクション** 不要。

## 335005

**エラーメッセージ** %ASA-4-335005: NAC Downloaded ACL parse failure - *host-address*

**説明** ダウンロードされた ACL の解析に失敗しました。

- *host-address* : ホストの IP アドレス。ドット付き 10 進表記で示されます (たとえば、10.1.1.1)。

**推奨アクション** Cisco Secure Access Control Server の設定を確認します。

## 335006

**エラーメッセージ** %ASA-6-335006: NAC Applying ACL: *ACL-name* - *host-address*

説明 NAC ポスチャ検証の結果として適用されている ACL の名前です。

- *ACL-name* : 適用する ACL の名前。
- *host-address* : ホストの IP アドレス。ドット付き 10 進表記で示されます (たとえば、10.1.1.1)。

推奨アクション 不要。

## 335007

エラーメッセージ %ASA-7-335007: NAC Default ACL not configured - *host-address*

説明 NAC デフォルト ACL が設定されていません。

- *host-address* : ホストの IP アドレス。ドット付き 10 進表記で示されます (たとえば、10.1.1.1)。

推奨アクション 不要。

## 335008

エラーメッセージ %ASA-5-335008: NAC IPsec terminate from dynamic ACL: *ACL-name* - *host-address*

説明 PV の結果として取得されたダイナミック ACL には IPSec の終端が必要です。

- *ACL-name* : 適用する ACL の名前。
- *host-address* : ホストの IP アドレス。ドット付き 10 進表記で示されます (たとえば、10.1.1.1)。

推奨アクション 不要。

## 335009

エラーメッセージ %ASA-6-335009: NAC Revalidate request by administrative action - *host-address*

説明 管理者によって NAC Revalidate アクションが要求されました。

- *host-address* : ホストの IP アドレス。ドット付き 10 進表記で示されます (たとえば、10.1.1.1)。

推奨アクション 不要。

## 335010

エラーメッセージ %ASA-6-335010: NAC Revalidate All request by administrative action - *num sessions*

説明 管理者によって NAC Revalidate All アクションが要求されました。

- *num* : 再検証するセッション数を示す 10 進の整数

推奨アクション 不要。

## 335011

**エラー メッセージ** %ASA-6-335011: NAC Revalidate Group request by administrative action for *group-name* group - *num* sessions

**説明** 管理者によって NAC Revalidate Group アクションが要求されました。

- *group-name* : VPN グループ名
- *num* : 再検証するセッション数を示す 10 進の整数

推奨アクション 不要。

## 335012

**エラーメッセージ** %ASA-6-335012: NAC Initialize request by administrative action - *host-address*

**説明** 管理者によって NAC Initialize アクションが要求されました。

- *host-address* : ホストの IP アドレス。ドット付き 10 進表記で示されます (たとえば、10.1.1.1)。

推奨アクション 不要。

## 335013

**エラー メッセージ** %ASA-6-335013: NAC Initialize All request by administrative action - *num* sessions

**説明** 管理者によって NAC Initialize All アクションが要求されました。

- *num* : 再検証するセッション数を示す 10 進の整数

推奨アクション 不要。

## 335014

**エラー メッセージ** %ASA-6-335014: NAC Initialize Group request by administrative action for *group-name* group - *num* sessions

**説明** 管理者によって NAC Initialize Group アクションが要求されました。

- *group-name* : VPN グループ名
- *num* : 再検証するセッション数を示す 10 進の整数

推奨アクション 不要。

## 336001

**エラーメッセージ** %ASA-3-336001 Route *desination\_network* stuck-in-active state in EIGRP-*ddb\_name* *as\_num*. Cleaning up

**説明** SIA 状態とは、EIGRP ルータが指定された時間（約3分）以内に1つ以上のネイバーからクエリーに対する応答を受信できなかったことを意味します。この状態が発生した場合、EIGRP は、応答を送信しなかった隣接ルータとの隣接関係を解消し、アクティブになったルートに関するエラーメッセージをログに記録します。

- *destination\_network* : アクティブになったルート
- *ddb\_name* : IPv4
- *as\_num* : EIGRP ルータ

**推奨アクション** ルータが一部の隣接ルータから応答を受信しなかった原因、およびルートが消失した原因を確認します。

## 336002

**エラーメッセージ** %ASA-3-336002: Handle *handle\_id* is not allocated in pool.

**説明** EIGRP ルータは、ネクスト ホップのハンドルを見つけることができません。

- *handle\_id* : 見つからないハンドルの ID

**推奨アクション** 問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 336003

**エラーメッセージ** %ASA-3-336003: No buffers available for *bytes* byte packet

**説明** DUAL ソフトウェアが、パケットバッファを割り当てることができませんでした。ASA のメモリが不足している可能性があります。

- *bytes* : パケット内のバイト数

**推奨アクション** **show mem** または **show tech** コマンドを入力して、ASA のメモリが不足しているかどうかを確認します。問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 336004

**エラーメッセージ** %ASA-3-336004: Negative refcount in *pakdesc* *pakdesc*.

**説明** リファレンス カウントのパケット カウントが負になりました。

- *pakdesc* : パケット識別子

**推奨アクション** 問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 336005

**エラーメッセージ** %ASA-3-336005: Flow control error, *error* , on *interface\_name*.

**説明** インターフェイスでマルチキャストのフローブロックが発生しています。Qelm はキュー要素で、この場合は、この特定のインターフェイスのキューにある最後のマルチキャストパケットです。

- *error* : エラー文 : Qelm on flow ready
- *interface\_name* : エラーが発生したインターフェイスの名前

**推奨アクション** 問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 336006

**エラーメッセージ** %ASA-3-336006: num peers exist on IIDB *interface\_name*.

**説明** EIGRP の IDB のクリーンアップ中またはクリーンアップ後、特定のインターフェイス上にピアがまだ存在しています。

- *num* : ピアの数
- *interface\_name* : インターフェイス名

**推奨アクション** 問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 336007

**エラーメッセージ** %ASA-3-336007: Anchor count negative

**説明** エラーが発生し、アンカーの解放時にアンカー カウントが負になりました。

**推奨アクション** 問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 336008

**エラーメッセージ** %ASA-3-336008: Lingering DRDB deleting IIDB, dest network, nexthop address (interface), origin *origin\_str*

**説明** インターフェイスが削除されており、長期の DRDB が存在します。

- *network* : 宛先ネットワーク
- *address* : ネクストホップアドレス
- *interface* : ネクストホップ インターフェイス
- *origin\_str* : 発信元を定義する文字列

**推奨アクション** 問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 336009

**エラーメッセージ** %ASA-3-336009 *ddb\_name* *as\_id*: Internal Error

説明内部エラーが発生しました。

- *ddb\_name* : PDM 名 (たとえば、IPv4 PDM)
- *as\_id* : 自律システム ID

推奨アクション問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 336010

エラーメッセージ %ASA-5-336010 EIGRP-ddb\_name tableid as\_id: Neighbor address (%interface)  
is event\_msg: msg

説明隣接ルータがアップまたはダウンしました。

- *ddb\_name* : IPv4
- *tableid* : RIB の内部 ID
- *as\_id* : 自律システム ID
- *address* : 隣接ルータの IP アドレス
- *interface* : インターフェイスの名前
- *event\_msg* : 隣接ルータで発生しているイベント (つまり、up または down)
- *msg* : イベントの原因。 (*event\_msg* と *msg* の値ペアには次のものがあります)

- resync: peer graceful-restart
- down: holding timer expired
- up: new adjacency
- down: Auth failure
- down: Stuck in Active
- down: Interface PEER-TERMINATION received
- down: K-value mismatch
- down: Peer Termination received
- down: stuck in INIT state
- down: peer info changed
- down: summary configured
- down: Max hopcount changed
- down: metric changed
- down: [No reason]

推奨アクション隣接ルータのリンクがダウンまたはフラッピングしている原因を確認します。これは、問題の兆候である可能性があります。または、これが原因で問題が発生する可能性があります。

## 336011

**エラーメッセージ** %ASA-6-336011: event event

説明デュアル イベントが発生しました。イベントは次のいずれかです。

- Redist rt change
- SIA Query while Active

推奨アクション問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 336012

**エラーメッセージ** %ASA-3-336012: Interface interface\_names going down and neighbor\_links links exist

説明インターフェイスがダウンしているか、または IGRP 経由でルーティングから削除されていますが、すべてのリンク（ネイバー）がトポロジテーブルから削除されたわけではありません。

推奨アクション問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 336013

**エラーメッセージ** %ASA-3-336013: Route iproute, iproute\_successors successors, db\_successors rdbs

説明ハードウェアまたはソフトウェアのエラーが発生しました。

推奨アクション問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 336014

**エラーメッセージ** %ASA-3-336014: "EIGRP\_PDM\_Process\_name, event\_log"

説明ハードウェアまたはソフトウェアのエラーが発生しました。

推奨アクション問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 336015

**エラーメッセージ** %ASA-3-336015: "Unable to open socket for AS as\_number"

説明ハードウェアまたはソフトウェアのエラーが発生しました。

推奨アクション問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 336016

**エラーメッセージ** %ASA-3-336016: Unknown timer type timer\_type expiration



説明ハードウェアまたはソフトウェアのエラーが発生しました。

推奨アクション問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 336019

**エラーメッセージ** %ASA-3-336019: process\_name as\_number: prefix\_source threshold prefix level (prefix\_threshold) reached

説明トポロジデータベース内のプレフィックス数が、設定されたしきい値レベルまたはデフォルトのしきい値レベルに達しました。プレフィックスの送信元は次のいずれかになります。

- ネイバー
- 再配布済み
- アグリゲート

推奨アクション **show eigrp accounting** コマンドを使用して、プレフィックスの送信元に関する詳細を取得し、是正措置を取ってください。

## 337000

**エラーメッセージ** %ASA-6-337000: Created BFD session with local discriminator <id> on <real\_interface> with neighbor <real\_host\_ip>

説明この syslog メッセージは、BFD アクティブセッションが作成されたことを示します。

- id : 特定の BFD セッションのローカル識別子の値を示す数値フィールド
- real\_interface : BFD セッションが実行されているインターフェイス名
- real\_host\_ip : BFD セッションが確立されたネイバーの IP アドレス

推奨アクションなし。

## 337001

**エラーメッセージ** %ASA-6-337001: Terminated BFD session with local discriminator <id> on <real\_interface> with neighbor <real\_host\_ip> due to <failure\_reason>

説明この syslog メッセージは、アクティブな BFD セッションが終了したことを示します。

- id : 特定の BFD セッションのローカル識別子の値を示す数値フィールド
- real\_interface : BFD セッションが実行されているインターフェイス名
- real\_host\_ip : BFD セッションが確立されたネイバーの IP アドレス
- failure\_reason : 次のエラーの理由のいずれか。ピア側の BFD がダウン、ピア側の BFD 構成の削除、検出タイマーの期限切れ、エコー機能障害、ピアへのパスがダウン、ローカル BFD 構成の削除、BFD クライアント構成の削除

推奨アクションなし。

## 337005

**エラーメッセージ** %ASA-4-337005: Phone Proxy SRTP: Media session not found for media\_term\_ip/media\_term\_port for packet from in\_ifc:src\_ip/src\_port to out\_ifc:dest\_ip/dest\_port

**説明** 適応型セキュリティ アプライアンスでメディア終端 IP アドレスおよびポートを宛先とした SRTP/RTP パケットを受信したが、このパケットを処理するための対応するメディアセッションが見つかりませんでした。

- in\_ifc : 入力インターフェイス
- src\_ip : パケットの送信元 IP アドレス
- src\_port : パケットの送信元ポート
- out\_ifc : 出力インターフェイス
- dest\_ip : パケットの宛先 IP アドレス
- dest\_port : パケットの宛先ポート

**推奨アクション** このメッセージがコールの最後に生成された場合、正常であると考えられます。シグナリング メッセージによりメディアセッションは解放された可能性があります。エンドポイントでは引き続きいくつかの SRTP または RTP パケットが送信されているためです。このメッセージが奇数のメディア終端ポートに対して生成された場合、エンドポイントでは RTCP が送信されており、それを CUCM からディセーブルにする必要があります。このメッセージがコールに対して継続的に生成される場合は、電話プロキシ デバッグ コマンドまたは取り込みコマンドを使用してシグナリング メッセージ トランザクションをデバッグし、シグナリング メッセージがメディア終端 IP アドレスおよびポートで変更されているかどうかを確認します。

## 338001

**エラーメッセージ** %ASA-4-338001: Dynamic filter monitored blacklisted protocol traffic from in\_interface :src\_ip\_addr /src\_port (mapped-ip /mapped-port) to out\_interface :dest\_ip\_addr /dest\_port , (mapped-ip /mapped-port), source malicious address resolved from local or dynamic list: domain name, threat-level: level\_value, category: category\_name

**説明** ダイナミック フィルタ データベース内のブラックリスト ドメインからのトラフィックが発生しました。脅威レベルは、none、very-low、low、moderate、high、および very-high のいずれかを示す文字列です。カテゴリは、ドメイン名がブラックリストに掲載された理由に示す文字列です（たとえば、botnet、Trojan、spyware）。

**推奨アクション** 悪意のあるサイトへのアクセスがログに記録されました。内部 IP アドレスを使用して感染マシンをトレースするか、**dynamic-filter drop blacklist** コマンドを入力して自動的にこのようなトラフィックをドロップします。

## 338002

**エラーメッセージ** %ASA-4-338002: Dynamic filter monitored blacklisted protocol traffic from in\_interface :src\_ip\_addr /src\_port (mapped-ip /mapped-port ) to out\_interface

```
:dest_ip_addr /dest_port (mapped-ip /mapped-port ), destination malicious address resolved
from local or dynamic list: domain name, threat-level: level_value, category:
category_name
```

**説明** ダイナミック フィルタ データベース内のブラックリスト ドメイン名へのトラフィックが発生しました。脅威レベルは、none、very-low、low、moderate、high、およびvery-high のいずれかを示す文字列です。カテゴリは、ドメイン名がブラックリストに掲載された理由に示す文字列です（たとえば、botnet、Trojan、spyware）。

**推奨アクション** 悪意のあるサイトへのアクセスがログに記録されました。内部 IP アドレスを使用して感染マシンをトレースするか、**dynamic-filter drop blacklist** コマンドを入力して自動的にこのようなトラフィックをドロップします。

## 338003

```
エラーメッセージ %ASA-4-338003: Dynamic filter monitored blacklisted protocol traffic
from in_interface :src_ip_addr /src_port (mapped-ip /mapped-port) to out_interface
:dest_ip_addr /dest_port , (mapped-ip /mapped-port), source malicious address resolved
from local or dynamic list: ip address/netmask, threat-level: level_value, category:
category_name
```

**説明** ダイナミック フィルタ データベース内のブラックリスト IP アドレスからのトラフィックが発生しました。脅威レベルは、none、very-low、low、moderate、high、およびvery-high のいずれかを示す文字列です。カテゴリは、ドメイン名がブラックリストに掲載された理由に示す文字列です（たとえば、botnet、Trojan、spyware）。

**推奨アクション** 悪意のあるサイトへのアクセスがログに記録されました。内部 IP アドレスを使用して感染マシンをトレースするか、**dynamic-filter drop blacklist** コマンドを入力して自動的にこのようなトラフィックをドロップします。

## 338004

```
エラーメッセージ %ASA-4-338004: Dynamic filter monitored blacklisted protocol traffic
from in_interface :src_ip_addr /src_port (mapped-ip /mapped-port ) to out_interface
:dest_ip_addr /dest_port (mapped-ip /mapped-port ), destination malicious address resolved
from local or dynamic list: ip address/netmask, threat-level: level_value, category:
category_name
```

**説明** ダイナミック フィルタ データベース内のブラックリスト IP アドレスへのトラフィックが発生しました。脅威レベルは、none、very-low、low、moderate、high、およびvery-high のいずれかを示す文字列です。カテゴリは、ドメイン名がブラックリストに掲載された理由に示す文字列です（たとえば、botnet、Trojan、spyware）。

**推奨アクション** 悪意のあるサイトへのアクセスがログに記録されました。内部 IP アドレスを使用して感染マシンをトレースするか、**dynamic-filter drop blacklist** コマンドを入力して自動的にこのようなトラフィックをドロップします。

## 338005

**エラーメッセージ** %ASA-4-338005: Dynamic filter dropped blacklisted protocol traffic from *in\_interface :src\_ip\_addr /src\_port (mapped-ip /mapped-port ) to out\_interface :dest\_ip\_addr /dest\_port (mapped-ip /mapped-port )*, source malicious address resolved from local or dynamic list: domain name, threat-level: level\_value, category: category\_name

**説明** ダイナミック フィルタ データベース内のブラックリスト ドメイン名からのトラフィックが拒否されました。脅威レベルは、none、very-low、low、moderate、high、およびvery-highのいずれかを示す文字列です。カテゴリは、ドメイン名がブラックリストに掲載された理由に示す文字列です（たとえば、botnet、Trojan、spyware）。

**推奨アクション** 不要。

## 338006

**エラーメッセージ** %ASA-4-338006: Dynamic filter dropped blacklisted protocol traffic from *in\_interface :src\_ip\_addr /src\_port (mapped-ip /mapped-port ) to out\_interface :dest\_ip\_addr /dest\_port (mapped-ip /mapped-port )*, destination malicious address resolved from local or dynamic list: domain name, threat-level: level\_value, category: category\_name

**説明** ダイナミック フィルタ データベース内のブラックリスト ドメイン名へのトラフィックが拒否されました。脅威レベルは、none、very-low、low、moderate、high、およびvery-highのいずれかを示す文字列です。カテゴリは、ドメイン名がブラックリストに掲載された理由に示す文字列です（たとえば、botnet、Trojan、spyware）。

**推奨アクション** 不要。

## 338007

**エラーメッセージ** %ASA-4-338007: Dynamic filter dropped blacklisted protocol traffic from *in\_interface :src\_ip\_addr /src\_port (mapped-ip /mapped-port ) to out\_interface :dest\_ip\_addr /dest\_port (mapped-ip /mapped-port )*, source malicious address resolved from local or dynamic list: ip address/netmask, threat-level: level\_value, category: category\_name

**説明** ダイナミック フィルタ データベース内のブラックリスト IP アドレスからのトラフィックが拒否されました。脅威レベルは、none、very-low、low、moderate、high、およびvery-highのいずれかを示す文字列です。カテゴリは、ドメイン名がブラックリストに掲載された理由に示す文字列です（たとえば、botnet、Trojan、spyware）。

**推奨アクション** 不要。

## 338008

**エラーメッセージ** %ASA-4-338008: Dynamic filter dropped blacklisted protocol traffic from *in\_interface :src\_ip\_addr /src\_port (mapped-ip /mapped-port ) to out\_interface :dest\_ip\_addr /dest\_port (mapped-ip /mapped-port )*, destination malicious address resolved

*from local or dynamic list: ip address/netmask, threat-level: level\_value, category: category\_name*

**説明** ダイナミック フィルタ データベース内のブラックリスト IP アドレスへのトラフィックが拒否されました。脅威レベルは、none、very-low、low、moderate、high、およびvery-highのいずれかを示す文字列です。カテゴリは、ドメイン名がブラックリストに掲載された理由に示す文字列です（たとえば、botnet、Trojan、spyware）。

**推奨アクション** 不要。

## 338101

**エラーメッセージ** %ASA-4-338101: Dynamic filter action whitelisted protocol traffic from *in\_interface :src\_ip\_addr /src\_port (mapped-ip /mapped-port) to out\_interface :dest\_ip\_addr /dest\_port , (mapped-ip /mapped-port), source malicious address resolved from local or dynamic list: domain name*

**説明** ダイナミック フィルタ データベース内のホワイトリスト ドメインからのトラフィックが発生しました。

**推奨アクション** 不要。

## 338102

**エラーメッセージ** %ASA-4-338102: Dynamic filter action whitelisted protocol traffic from *in\_interface :src\_ip\_addr /src\_port (mapped-ip /mapped-port ) to out\_interface :dest\_ip\_addr /dest\_port (mapped-ip /mapped-port ) , destination malicious address resolved from local or dynamic list: domain name*

**説明** ダイナミック フィルタ データベース内のホワイトリスト ドメイン名へのトラフィックが発生しました。

**推奨アクション** 不要。

## 338103

**エラーメッセージ** %ASA-4-338103: Dynamic filter action whitelisted protocol traffic from *in\_interface :src\_ip\_addr /src\_port (mapped-ip /mapped-port) to out\_interface :dest\_ip\_addr /dest\_port , (mapped-ip /mapped-port), source malicious address resolved from local or dynamic list: ip address/netmask*

**説明** ダイナミック フィルタ データベース内のホワイトリスト IP アドレスからのトラフィックが発生しました。

**推奨アクション** 不要。

## 338104

**エラーメッセージ** %ASA-4-338104: Dynamic filter action whitelisted protocol traffic from *in\_interface :src\_ip\_addr /src\_port (mapped-ip /mapped-port ) to out\_interface*

```
:dest_ip_addr /dest_port (mapped-ip /mapped-port ), destination malicious address resolved
from local or dynamic list: ip address/netmask
```

**説明** ダイナミック フィルタ データベース内のホワイトリスト IP アドレスへのトラフィックが発生しました。

**推奨アクション** 不要。

## 338201

```
エラーメッセージ %ASA-4-338201: Dynamic filter monitored greylisted protocol traffic
from in_interface :src_ip_addr /src_port (mapped-ip /mapped-port) to out_interface
:dest_ip_addr /dest_port , (mapped-ip /mapped-port), source malicious address resolved
from local or dynamic list: domain name, threat-level: level_value, category:
category_name
```

**説明** ダイナミック フィルタ データベース内のグレーリスト ドメインからのトラフィックが発生しました。脅威レベルは、none、very-low、low、moderate、high、およびvery-highのいずれかを示す文字列です。カテゴリは、ドメイン名がブラックリストに掲載された理由に示す文字列です（たとえば、botnet、Trojan、spyware）。

**推奨アクション** 悪意のあるサイトへのアクセスがログに記録されました。内部 IP アドレスを使用して感染マシンをトレースするか、**dynamic-filter drop blacklist** コマンドと **dynamic-filter ambiguous-is-black** コマンドを入力して自動的にこのようなトラフィックをドロップします。

## 338202

```
エラーメッセージ %ASA-4-338202: Dynamic filter monitored greylisted protocol traffic
from in_interface :src_ip_addr /src_port (mapped-ip /mapped-port ) to out_interface
:dest_ip_addr /dest_port (mapped-ip /mapped-port ), destination malicious address resolved
from local or dynamic list: domain name, threat-level: level_value, category:
category_name
```

**説明** ダイナミック フィルタ データベース内のグレーリスト ドメイン名へのトラフィックが発生しました。脅威レベルは、none、very-low、low、moderate、high、およびvery-highのいずれかを示す文字列です。カテゴリは、ドメイン名がブラックリストに掲載された理由に示す文字列です（たとえば、botnet、Trojan、spyware）。

**推奨アクション** 悪意のあるサイトへのアクセスがログに記録されました。内部 IP アドレスを使用して感染マシンをトレースするか、**dynamic-filter drop blacklist** コマンドと **dynamic-filter ambiguous-is-black** コマンドを入力して自動的にこのようなトラフィックをドロップします。

## 338203

```
エラーメッセージ %ASA-4-338203: Dynamic filter dropped greylisted protocol traffic from
in_interface :src_ip_addr /src_port (mapped-ip /mapped-port ) to out_interface
:dest_ip_addr /dest_port (mapped-ip /mapped-port ), source malicious address resolved
from local or dynamic list: domain name, threat-level: level_value, category:
category_name
```

**説明** ダイナミック フィルタ データベース内のグレーリスト ドメイン名からのトラフィックが拒否されました。ただし、悪意のある IP アドレスはダイナミック フィルタ データベースで認識されていないドメイン名に解決されています。脅威レベルは、none、very-low、low、moderate、high、および very-high のいずれかを示す文字列です。カテゴリは、ドメイン名がブラック リストに掲載された理由に示す文字列です（たとえば、botnet、Trojan、spyware）。

**推奨アクション** 悪意のあるサイトへのアクセスがドロップされました。IP アドレスがブラック リスト ドメイン名と不明なドメイン名の両方に一致するグレーリスト トラフィックを自動的にドロップしない場合は、**dynamic-filter ambiguous-is-black** コマンドをディセーブルにします。

## 338204

**エラーメッセージ** %ASA-4-338204: Dynamic filter dropped greylisted protocol traffic from *in\_interface* :*src\_ip\_addr* /*src\_port* (*mapped-ip* /*mapped-port* ) to *out\_interface* :*dest\_ip\_addr* /*dest\_port* (*mapped-ip* /*mapped-port* ), destination malicious address resolved from local or dynamic list: domain name, threat-level: level\_value, category: category\_name

**説明** ダイナミック フィルタ データベース内のグレーリスト ドメイン名へのトラフィックが拒否されました。ただし、悪意のある IP アドレスはダイナミック フィルタ データベースで認識されていないドメイン名に解決されています。脅威レベルは、none、very-low、low、moderate、high、および very-high のいずれかを示す文字列です。カテゴリは、ドメイン名がブラック リストに掲載された理由に示す文字列です（たとえば、botnet、Trojan、spyware）。

**推奨アクション** 悪意のあるサイトへのアクセスがドロップされました。IP アドレスがブラック リスト ドメイン名と不明なドメイン名の両方に一致するグレーリスト トラフィックを自動的にドロップしない場合は、**dynamic-filter ambiguous-is-black** コマンドをディセーブルにします。

## 338301

**エラーメッセージ** %ASA-4-338301: Intercepted DNS reply for domain name from *in\_interface* :*src\_ip\_addr* /*src\_port* to *out\_interface* :*dest\_ip\_addr* /*dest\_port* , matched list

**説明** 管理者のホワイトリスト、ブラックリスト、または IronPort リストに存在する DNS 応答が代行受信されました。

- *name* : ドメイン名
- *list* : ドメイン名、管理者のホワイトリスト、ブラックリスト、または IronPort リストを含むリスト

**推奨アクション** 不要。

## 338302

**エラーメッセージ** %ASA-5-338302: Address *ipaddr* discovered for domain name from *list* , Adding rule

説明 ダイナミック フィルタ規則テーブルに DNS 応答から検出された IP アドレスが追加されました。

- *ipaddr* : DNS 応答からの IP アドレス
- *name* : ドメイン名
- *list* : ドメイン名、管理者のブラックリスト、または IronPort リストを含むリスト

推奨アクション 不要。

## 338303

エラーメッセージ %ASA-5-338303: Address *ipaddr* (*name*) timed out, Removing rule

説明 ダイナミック フィルタ規則テーブルから検出された IP アドレスが削除されました。

- *ipaddr* : DNS 応答からの IP アドレス
- *name* : ドメイン名

推奨アクション 不要。

## 338304

エラーメッセージ %ASA-6-338304: Successfully downloaded dynamic filter data file from updater server url

説明 新しいバージョンのデータ ファイルがダウンロードされました。

- *url* : アップデータ サーバの URL

推奨アクション 不要。

## 338305

エラーメッセージ %ASA-3-338305: Failed to download dynamic filter data file from updater server url

説明 ダイナミック フィルタ データベースのダウンロードに失敗しました。

- *url* : アップデータ サーバの URL

推奨アクション アップデータ サーバの URL を解決できるように、ASA に DNS コンフィギュレーションが存在することを確認します。ASA からサーバに対して ping を実行できない場合は、正しいネットワーク接続およびルーティング コンフィギュレーションについてネットワーク管理者に確認してください。問題が解決しない場合、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 338306

エラーメッセージ %ASA-3-338306: Failed to authenticate with dynamic filter updater server url

説明 ASA はダイナミック フィルタ アップデータ サーバに対する認証に失敗しました。



- *url* : アップデータ サーバの URL

推奨アクション Cisco TAC にお問い合わせください。

## 338307

**エラーメッセージ** %ASA-3-338307: Failed to decrypt downloaded dynamic filter database file

**説明** ダウンロードしたダイナミック フィルタ データベース ファイルの復号化に失敗しました。

推奨アクション Cisco TAC にお問い合わせください。

## 338308

**エラーメッセージ** %ASA-5-338308: Dynamic filter updater server dynamically changed from *old\_server\_host* : *old\_server\_port* to *new\_server\_host* : *new\_server\_port*

**説明** ASA は、新しいアップデータ サーバのホストまたはポートに変更されました。

- *old\_server\_host* : *old\_server\_port* : 今までのアップデータ サーバのホストとポート
- *new\_server\_host* : *new\_server\_port* : 新しいアップデータ サーバのホストとポート

推奨アクション 不要。

## 338309

**エラーメッセージ** %ASA-3-338309: The license on this ASA does not support dynamic filter updater feature.

**説明** ダイナミック フィルタ アップデータはライセンス対象の機能です。ただし、ASA のライセンスでは、この機能はサポートされていません。

推奨アクション 不要。

## 338310

**エラーメッセージ** %ASA-3-338310: Failed to update from dynamic filter updater server *url*, reason: *reason string*

**説明** ASA でダイナミック フィルタ アップデータ サーバからのアップデートの受信に失敗しました。

- *url* : アップデータ サーバの URL
- *reason string* : 失敗の原因。次のいずれかです。

- アップデータ サーバへの接続失敗
- 無効なサーバ応答の受信
- 無効なサーバ マニフェストの受信

- 格納されているアップデート ファイル情報のエラー
- スクリプトエラー
- 機能コールエラー
- メモリ不足

**推奨アクション** サーバへのネットワーク接続を確認します。 **show dynamic-filter updater-client** コマンドの出力に示されるサーバ URL に対して ping を実行します。ポートがネットワークを通過できるようになっていることを確認します。ネットワーク接続に問題がない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

## 339001

**エラーメッセージ** %ASA-3-339001: DNSCRYPT certificate update failed for <num\_tries> tries

**説明** DNSCrypt は証明書の更新を受信できませんでした。

- *num\_tries* : DNSCrypt が証明書の更新を取得できなかった回数

**推奨アクション** 次の事項を確認します。

- ルートが Umbrella サーバに対して設定されている場合。
- Umbrella サーバの出力インターフェイスがアップしている場合。
- 正しいプロバイダー公開キーが使用されている場合。

## 339002

**エラーメッセージ** %ASA-3-339002: Umbrella device registration failed with error code <err\_code>

**説明** Umbrella デバイスの登録に失敗しました。

- *err\_code* : サーバから返されたエラーコード。

**推奨アクション** エラーコードが次の場合 :

- 400 : 要求の形式またはコンテンツに問題があります。トークンが短すぎるか、破損している可能性があります。トークンが Umbrella ダッシュボードにあるものと一致するかどうかを確認します。
- 401 : トークンは承認されていません。トークンが Umbrella ダッシュボードで更新された場合は、ASA で新しいトークンを更新する必要があります。
- 409 : デバイス ID が別の組織と競合しています。Umbrella サーバ管理者にお問い合わせください。
- 500 : 内部サーバーエラーがあります。Umbrella サーバ管理者にお問い合わせください。

## 339003

エラーメッセージ %ASA-3-339003: Umbrella device registration was successful

説明 Umbrella デバイスの登録に成功したメッセージ。

推奨アクション なし。

## 339004

エラーメッセージ %ASA-3-339004: Umbrella device registration failed due to missing token

説明 トークンがないため、Umbrella デバイスの登録に失敗しました。

推奨アクション トークンがグローバルな「包括」サブモードで設定されていることを確認してください。

## 339005

エラーメッセージ %ASA-3-339005: Umbrella device registration failed after <num\_tries> retries

説明 Umbrella デバイスの登録に失敗しました。

- *num\_tries* : Umbrella デバイスが Umbrella サーバへの登録に失敗した回数。

推奨アクション Syslog 339002 メッセージでエラーコードを見つけます。339002 Syslog メッセージの回避策を参照し、修正してください。

## 339006

エラーメッセージ %ASA-3-339006: Umbrella resolver current resolver ipv46 is reachable, resuming Umbrella redirect.

説明 Umbrella が開くことに失敗し、リゾルバが到達不能でした。現時点では、レゾルバが到達可能になっており、サービスが再開されています。

推奨処置 なし。

## 339007

エラーメッセージ %ASA-3-339007: Umbrella resolver current resolver ipv46 is unreachable, moving to fail-open. Starting probe to resolver.

説明 Umbrella フェールオープンが設定されており、リゾルバの到達不能が検出されました。

推奨アクション Umbrella リゾルバへの到達可能性に関してネットワーク設定を確認します。

## 339008

**エラーメッセージ** %ASA-3-339008: Umbrella resolver current resolver ipv46 is unreachable, moving to fail-close.

**説明** Umbrella フェールオーバーが設定されて「おらず」、リゾルバの到達不能が検出されました。

**推奨アクション** Umbrella リゾルバへの到達可能性に関してネットワーク設定を確認します。

## 340001

**エラーメッセージ** %ASA-3-340001: Loopback-proxy error: error\_string context id context\_id , context type = version /request\_type /address\_type client socket (internal)= client\_address\_internal /client\_port\_internal server socket (internal)= server\_address\_internal /server\_port\_internal server socket (external)= server\_address\_external /server\_port\_external remote socket (external)= remote\_address\_external /remote\_port\_external

**説明** ループバック プロキシは、ASA で実行されているサードパーティ製アプリケーションがネットワークにアクセスすることを可能にします。ループバック プロキシでエラーが発生しました。

- *context\_id* : 各ループバック クライアントプロキシ要求に対して生成される一意の 32 ビット コンテキスト ID
- *version* : プロトコルバージョン
- *request\_type* : 要求タイプ。TC (TCP 接続)、TB (TCP バインド)、または UA (UDP アソシエーション) のいずれかになります
- *address\_type* : アドレスタイプ、IP4 (IPv4)、IP6 (IPv6)、または DNS (ドメイン名サービス) のいずれかになります
- *client\_address\_internal/server\_address\_internal* : ループバック クライアントおよびループバック サーバが通信に使用したアドレス
- *client\_port\_internal/server\_port\_internal* : ループバック クライアントおよびループバック サーバが通信に使用したポート
- *server\_address\_external/remote\_address\_external* : ループバック サーバとリモートホストが通信に使用したアドレス
- *server\_port\_external/remote\_port\_external* : ループバック サーバとリモートホストが通信に使用したポート
- *error\_string* : 問題の解決に役立つエラー文字列

**推奨アクション** syslog メッセージをコピーし、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 340002

**エラーメッセージ** %ASA-6-340002: Loopback-proxy info: error\_string context id context\_id , context type = version /request\_type /address\_type client socket (internal)= client\_address\_internal /client\_port\_internal server socket (internal)= server\_address\_internal /server\_port\_internal server socket (external)=

```
server_address_external /server_port_external remote socket (external)=
remote_address_external /remote_port_external
```

**説明** ループバック プロキシは、ASA で実行されているサードパーティ製アプリケーションがネットワークにアクセスすることを可能にします。ループバック プロキシは、トラブルシューティングで使用するデバッグ情報を生成しました。

- *context\_id* : 各ループバック クライアントプロキシ要求に対して生成される一意の 32 ビット コンテキスト ID
- *version* : プロトコル バージョン
- *request\_type* : 要求タイプ。TC (TCP 接続)、TB (TCP バインド)、または UA (UDP アソシエーション) のいずれかになります
- *address\_type* : アドレスタイプ、IP4 (IPv4)、IP6 (IPv6)、または DNS (ドメイン名サービス) のいずれかになります
- *client\_address\_internal/server\_address\_internal* : ループバック クライアントおよびループバック サーバが通信に使用したアドレス
- *client\_port\_internal/server\_port\_internal* : ループバック クライアントおよびループバック サーバが通信に使用したポート
- *server\_address\_external/remote\_address\_external* : ループバック サーバとリモートホストが通信に使用したアドレス
- *server\_port\_external/remote\_port\_external* : ループバック サーバとリモートホストが通信に使用したポート
- *error\_string* : 問題の解決に役立つエラー文字列

**推奨アクション** syslog メッセージをコピーし、Cisco TAC にお問い合わせください。

## 341001

**エラーメッセージ** %ASA-6-341001: Policy Agent started successfully for VNMCM vnmc\_ip\_addr

**説明** ポリシー エージェント プロセス (DME、ducatiAG および commonAG) が正常に開始されました。

- *vnmc\_ip\_addr* : VNMCM サーバの IP アドレス

**推奨アクション** なし。

## 341002

**エラーメッセージ** %ASA-6-341002: Policy Agent stopped successfully for VNMCM vnmc\_ip\_addr

**説明** ポリシー エージェント プロセス (DME、ducatiAG および commonAG) が停止しました。

- *vnmc\_ip\_addr* : VNMCM サーバの IP アドレス

**推奨アクション** なし。

## 341003

**エラーメッセージ** %ASA-3-341003: Policy Agent failed to start for VNMC vnmc\_ip\_addr  
説明ポリシー エージェントの開始に失敗しました。

- *vnmc\_ip\_addr* : VNMC サーバの IP アドレス

**推奨アクション** コンソールの履歴やエラー メッセージの `disk0:/pa/log/vnm_pa_error_status` をチェックします。ポリシー エージェントの開始を再試行するには、**registration host** コマンドを再実行します。

## 341004

**エラーメッセージ** %ASA-3-341004: Storage device not available: Attempt to shutdown module %s failed.

説明すべての SSD が失敗したか、アップ状態のシステムから削除されました。システムがソフトウェア モジュールをシャット ダウンしようとしたますが、失敗しました。

- *%s* : ソフトウェア モジュール (cxsc など)

**推奨アクション**削除されたか、障害が発生したドライブを交換し、ASA をリロードします。

## 341005

**エラーメッセージ** %ASA-3-341005: Storage device not available. Shutdown issued for module %s .

説明すべての SSD が失敗したか、アップ状態のシステムから削除されました。システムがソフトウェア モジュールをシャット ダウンしています。

- *%s* : ソフトウェア モジュール (cxsc など)

**推奨アクション**削除されたか、障害が発生したドライブを交換し、ソフトウェア モジュールをリロードします。

## 341006

**エラーメッセージ** %ASA-3-341006: Storage device not available. Failed to stop recovery of module %s .

説明すべての SSD が失敗したか、リカバリ状態のシステムから削除されました。システムがリカバリを停止しようとしたますが、失敗しました。

- *%s* : ソフトウェア モジュール (cxsc など)

**推奨アクション**削除されたか、障害が発生したドライブを交換し、ASA をリロードします。

## 341007

**エラーメッセージ** %ASA-3-341007: Storage device not available. Further recovery of module %s was stopped. This may take several minutes to complete.

**説明**すべての SSD が失敗したか、リカバリ状態のシステムから削除されました。システムはソフトウェア モジュールのリカバリを中断します。

- %s: ソフトウェア モジュール (cxsc など)

**推奨アクション**削除されたか、障害が発生したドライブを交換し、ソフトウェア モジュールをリロードします。

## 341008

**エラーメッセージ** %ASA-3-341008: Storage device not found. Auto-boot of module %s cancelled. Install drive and reload to try again.

**説明**システムをアップ状態にした後、すべての SSD に障害が発生したか、システムをリロードする前に削除されました。ブート中のデフォルト動作ではソフトウェア モジュールが自動ブートされますが、利用可能なストレージ デバイスがいないため、その動作がブロックされます。

**推奨アクション**削除されたか、障害が発生したドライブを交換し、ソフトウェア モジュールをリロードします。

## 341010

**エラーメッセージ** %ASA-6-341010: Storage device with serial number ser\_no [inserted into | removed from] bay bay\_no

**説明**ASA が挿入または削除のイベントを検出し、この syslog メッセージをすぐに生成します。

**推奨アクション**必要なし。

## 341011

**エラーメッセージ** %ASA-3-341011: Storage device with serial number ser\_no in bay bay\_no faulty.

**説明**ASA は 10 分ごとにハードディスク ドライブ (HDD) のヘルス ステータスをポーリングし、HDD が障害状態の場合は、この syslog メッセージを生成します。

**推奨アクション**必要なし。

## 342001

**エラーメッセージ** %ASA-7-342001: REST API Agent started successfully.

説明 REST API クライアントで ASA を設定するには、その前に REST API エージェントを正常に起動する必要があります。

推奨アクション なし。

## 342002

エラーメッセージ %ASA-3-342002: REST API Agent failed, reason: reason

説明 REST API エージェントが、さまざまな理由で起動に失敗したかクラッシュした可能性があります。理由が示されます。

- *reason* : REST API エラーの原因

推奨アクション問題を解決するためのアクションは、記録された理由によって異なります。たとえば、REST API エージェントは Java プロセスでメモリが不足するとクラッシュします。この場合は、REST API エージェントを再起動する必要があります。正常に再起動できない場合は、根本原因の修正を特定するために Cisco TAC にお問い合わせください。

## 342003

エラーメッセージ %ASA-3-342003: REST API Agent failure notification received. Agent will be restarted automatically.

説明 REST API エージェントからのエラー通知が受信され、エージェントの再起動が試みられます。

推奨アクション なし。

## 342004

エラーメッセージ %ASA-3-342004: Failed to automatically restart the REST API Agent after 5 unsuccessful attempts. Use the 'no rest-api agent' and 'rest-api agent' commands to manually restart the Agent.

説明 REST API エージェントは何度か起動しようとしたできませんでした。

推奨アクション失敗の理由をさらに把握するには、syslog %ASA-3-342002（記録されている場合）を参照してください。no rest-api agent コマンドを入力して REST API エージェントをいったん無効にしてから、rest-api agent コマンドで再度 REST API エージェントを有効にしてみてください。

## 342005

エラーメッセージ %ASA-7-342005: REST API image has been installed successfully.

説明 REST API イメージは、REST API エージェントを起動する前に正常にインストールする必要があります。

推奨アクション なし。



## 342006

**エラー メッセージ** %ASA-3-342006: Failed to install REST API image, reason: <reason>.

**説明** REST API イメージのインストールが、バージョンチェックに失敗した、イメージの検証に失敗した、イメージファイルが見つからない、フラッシュの領域を使い切った、マウントに失敗した、のいずれかの理由で失敗しました。

**推奨処置** 管理者は、障害を修復し、「rest-api image <image>」を使用してイメージを再インストールする必要があります。

## 342007

**エラー メッセージ** %ASA-7-342007: REST API image has been uninstalled successfully.

**説明** 新しいイメージをインストールする前に、古い REST API イメージを正常にアンインストールする必要があります。

**推奨アクション** なし。

## 342008

**エラー メッセージ** %ASA-3-342008: Failed to uninstall REST API image, reason: <reason>.

**説明** REST API イメージは、マウント解除に失敗したか、または REST エージェントが有効になっているためにアンインストールできませんでした。

**推奨アクション** 管理者は REST API イメージをアンインストールする前に REST エージェントを無効にする必要があります。

